京城日報

十一日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　（郵送料前金）
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄一行金壹圓　▲三號活字一行金貳圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
電話（編輯）二五二、二四四番（營業）三六〇番
振替貯金口座京城三〇〇番

◎濰縣問題落著す

濰縣問題に關する事實調査の結果吾に何等の過失なかりし事明白となり行掛り的抗議を提出せる支那政府は遂に屈伏せりと（東京電報）

◎在支獨人の暗中飛躍

支那在住獨逸人は現政府の財政窮乏其極に達せるを奇貨とし資金の融通を圖らんと熱心に利を以て誘ひつゝ暗中飛躍を試み居れりと（東京電報）

◎獨立國組織完成宣言

廣東來電に依れば革命軍の領袖及び將軍等は廣東を首府とし黎元洪を中央政府の大統領兼陸海軍司令長官として北京政府と對抗すべき南方諸省よりなる獨立國の組織を完成せる旨の宣言をなし漸次內閣を組織し外務、大藏、軍務、司法、行政事務を分掌する旨發表をなしたり雲南都督は內閣議長に岑春煊は副議長に當選したりと（上海特電）

◎南方に對し武力解決

段祺瑞は八日某外人に對し時局收拾には袁總統在職するも妨げず南方は結束堅からず且馮、張、倪三氏北方を援くる事と也移中立各省將軍を籠むるを得ば南方に屈する必要なし平和を顧念し南方の要求を拒絕し聽かされば武力解決を辭せさる決心なりと語れり（北京特電）

◎段馮等と時局解決

段、馮等は袁總統及び副總統を全然除外し各省代表會議を以て時局を解決せんとし十五日迄に南京に代表者を召集する計畫なり六日馮が張勳を訪へるも此の爲なり（北京特電）

◎段馮張等の南方交涉

北京發別電に據れば段祺瑞、馮國璋、張勳等は今後三箇月間袁總統の退職を保留し南京に北方代表者會議を開きて北方の態度を確定し三箇月後に國會を召集し其成立を俟つて袁總統の退職及び後任者を決定すべしとの妥協案を以て南方と交涉を開始し若し南方政府にして之を承認せずんば開戰を辭せずと威嚇的聲言をなしつゝありと（東京電報）

◎新西蘭軍の戰線配置

公報に曰く濠洲新西蘭軍隊は佛國に到着し戰線の一部に配置せられたり（倫敦電報）

◎小亞細亞に於ける激戰

土軍の敗退＝露軍の優勢

小亞細亞に於ける目下の激戰は土軍が大部隊を以てエルジンガン方面にある露軍の退却を餘儀なくせしめんと計畫すると同時にモウチ地方に於て攻勢を取らんと目論見居るを示すされども到る處土軍は敗辱の浮目を受くるに反し露軍は敵の第一塹壕線を奪取して死物狂の狀を呈せる敵軍の攻擊を擊退せり（露都電報）

◎戰鬪の一大新局面開展

三〇四高地の敵襲は五回擊退

巴里來電に曰く七日はヴェルダン戰爭中にて特筆すべき激戰ありたる日なりミユーズ河西岸に於て兩軍共多大の兵を出し短距離の戰線に於いて激烈に砲火を交へ苦戰せり獨軍が再びドーモン及びモルトームに於て決勝戰を挑み來りしは明白にして獨軍の一軍團は三〇四高地及び二九五高地の間に於ける短距離の戰線に於て山背を強襲する事五回に及び第五回目の攻擊に於て獨軍は我が塹壕線に侵入し來れるも之を防禦せる勇武なる佛軍團は敵を擊退せり八日朝に至り獨逸皇太子の率ゆる獨軍は增援隊を得たるを以て戰鬪の一大新局面展し始めたり（倫敦電報）

◎邵王南方へ向ふ

遼東護國軍總司令邵子峯は過日來安東縣に潛伏して密かに事を舉げんと畫策中なりしが齟齬を來せる爲め遂に中止し八日上流より來れる元桓仁縣知事王諸輝と共に九日大連へ出發同地を經て南方に向ふ筈なり（安東縣特電）

◎地方官會議 第二日

地方官會議第二日は十一日午前中內務省に於て開會一木內相より地方行政に關する訓示ありたり（東京電報）

◎地方官御陪食

十八日宮中に於て地方官會議列席中の各地方官に對し御陪食仰付らる可しと（東京電報）

◎諸物價稍低落

昂騰を重ねつゝありし諸物價稍低落に傾けり（東京電報）

◎總督巡視

寺內總督一行は十一日朝忠州出發、自動車を驅つて尙州に赴き鑛務課出張所の經營に係る尙州金山視察の上大邱に一泊、十二日は午前同地を視察し、午後京釜線臨時列車に搭乘、芙江を經て淸州に向ふ可し

◎鮮鐵官制改正

朝鮮鐵道局は從來技術建設を本位とし官制の如きも技監を以て長官たらしめ其經營方針建設に在りしが今や開通里數一千哩を越ゆ會寧線亦近く竣成を見むとするのみならず京義、京釜兩線の如きは既に世界的交通幹線として露支滿各鐵道と聯絡する等顯著なる發達は既に技術建設の域を脫し學業時代に入り諸般の經營亦之れを以て本位たらしめざる可からざるに至れるより總督府にては此機に於て同局從來の方針を一變して營業本位たらしむるに決し之れに伴ふ官制改正案を作成し內閣に廻附中なりしが同案は既に法制局の審議を了へたるを以て近く御裁可を仰ぎ勅令を以て公布の筈なり、官制改正の內容中主なるものは技監の長官を廢し行政官を以て之れに充て尙ほ理事一名を設けて營業事務を總轄せしむるものにして官制の實施と共に大屋長官は特別任用令に依りて行政長官に任せられ、理事は現參事中より拔擢任用す可きが多分三本參事其任に就く可しと觀測さる

◎梨花嶺の掘鑿

京城釜山間一等國道に屬し京城土木局出張所の所管に係る忠北慶北兩道道界梨花嶺の掘鑿は約八萬圓の工費にて昨年來菱川組受負ひ延長三里を最急十五分の一勾配に道路を通ずべく工事進行中に係り既に八分五厘强の竣工となり六月末に工事完了の筈なるが十一日寺內總督一行を乘せたる自動車は無事同谷を通過せりと

◎地方土地調查委員會

京畿外四道分開會

臨時土地調查局にては事務の進捗に伴ひ十一日以降各道地方土地調查委員會の開會を求め調查の結果に依る土地所有權の查定に付諮問する事となりしが十一日は京畿道揭平加平兩郡十二日は抱川郡を京畿道に開會調查局より伊藤副事務官出張又十五日は忠北丹陽郡の分を忠北道廳に開き尾崎監查官臨席十八日は全北道廳に同道益山郡十九日は金州郡二十日は茂朱淳昌兩郡の分を開き本局より書記出張十九日は晉州道廳に慶南陝川郡二十日は統營郡にて伊藤副事務官出張並に十五日は平南道廳に龍岡郡の分を開會し和田總務課長出張の筈なり

◎李王兩陵參拜

李王殿下は十二日午前九時昌德宮御出門、御生母の陵墓なる東大門外洪陵並に王の先妃の陵墓なる楊州郡裕陵に御參拜の上午後三時德壽宮に李太王を御訪問、午後五時御歸還のことに御治定相成りたる旨十一日閔長官より其の筋に通知ありたり

◎立花第十九師團長

軍旗授與の爲め北鮮出張の立花第十九師團長は須田參謀、宮地副官、菊池副官、吉井主計正、谷口軍醫、李村獸醫を隨へ新軍旗授與と各管下部隊巡視の爲め十二日龍山發北鮮に向ひ廿七日歸任の豫定なり日程左の如し

▲十二日午前九時三十三分龍山發▲午後十時四十五分元山着▲十三日午前元山部隊視察▲同日乘船十四日西湖津經由咸興着直に咸興部隊視察▲十五日咸興にて步兵第七十四聯隊旗授與▲十六日咸興發▲十八日淸津着羅南に向ひ▲十九日羅南部隊巡視▲二十日步兵第七十三聯隊、騎兵第二十七聯隊軍旗授與▲二十一日羅南出發同日會寧着▲二十二日會寧部隊視察▲二十四日會寧發（都合に據りては城津に一日繰上げ歸途淸津に一泊鏡城を視察す）▲二十五日淸津發▲二十六日元山着▲二十七日午前九時四十五分元山發▲同日午後五時二十二分歸任

◎戰跡見學團 來期

滿洲戰跡及び朝鮮見學の途に在る陸軍大學校職員及び生徒六十九名は校長河合陸軍中將の引率にて二十八日朝新義州發平壤に下車牡丹臺玄武門の古戰場を一眄したる上同夜平壤發し廿九日午前八時南大門著入京の豫定なるが京城一泊の上三十日朝八時半出發歸東の途に就く豫定なり

◎駐日新露大使

駐日露國新任大使クルペンスキー氏は曩に前任地北京より歸國せるが九日露都を發し西比利亞經由にて十九日京城通過の鮮滿急行列車にて赴任の豫定なり

◎志村勸銀總裁消息

勸業銀行總裁志村源太郎氏一行は十日撫順炭坑を視察し長春に向け出發せし旨其筋に電報ありたり

◎鍋島侯爵入京期

侯爵鍋島直映氏は朝鮮視察の目的を以て來る十七日東京を發し京城に直行し來る由にて京城にては南山町の別邸に滯在し約三週間の豫定を以て京城及び附近の地を視察する由

◎土地監查官增加

臨時土地調查局に於ては土地係爭事務の續出し其の審理に多忙を極むるより最近監查官二名を又測地課の事務擴大に伴ひ同じく監查官七名の定員增加を行ひたるが何れも所屬判任官より任用せり

◎各檢潮所の引繼

臨時土地調查局の所管に屬せる仁川木浦及鎮南浦の潮流の干滿を檢する檢潮所は土木局に引繼ぐ事となり目下手續中の由尙ほ淸津檢潮所は昨年同地府廳に元山檢潮所は同地測候所に引繼ぎを了し居れり

◎會寧商況閑散

增師關係に基き會寧地方は軍隊側廳舍建築及び道路工事等四月に入つて開始せらるゝ氣構へにて何となく市況活潑を呈せるも一方間島方面に對する荷動きは豫期の如く捗々しからず大勢は耕作期なるが故に一層閑散の商狀を免れず從つて金融にも差したる影響なく緩和の狀態を持續しつゝあり金利は依然變動せざるも端午節句前後に於て一時市況殷賑し今後新に資金の需要を喚起せん豫想なりと

【釜山】

▲稅關鑑定價格變更　釜山稅關に於ては左記の輸移出品に對し其鑑定價格を來る十六日より變更實施する由

大豆 大玉	一石	六、九三
同 上	同	六、一〇
同 上	同	五、九〇
小豆	一石	七、九〇
荏子	百斤	四、三一
牛皮 上	百斤	五〇、〇八
同	並	四八、〇〇

▲志賀局長の出張　志賀釜山郵便局長は來る十四日浦項に於ける郵便所長會議に臨席の爲め十一日大邱を經て同地に出張すべし▲京都商校修學旅行　京都第二商業學校にては今回修學旅行の爲め生徒三十名教員三名は來る二十日頃連絡船にて來釜市中を視察し朝鮮各地を研學旅行する由釜山商業會議所へ照會通知ありたり▲川田校長視察　東京第一中學校長川田正澄氏は去月二十五日渡鮮直に京城に赴き各學校を視察し歸途大邱を經て八日午前再び來釜同日釜山中學、普通學校を視察し同夜鳴戶本店の歡迎會に臨み九日市中の各學校視察の上同夜高麗丸にて歸東の途に就けり▲伊藤中佐の送別會　今回陸軍運輸部釜山支部長伊藤中佐は昇進榮轉し近々宇品本部に赴任するを以て釜山官民有志は九日午後七時より南濱芳千閣に於て送別の宴を開催せるが列席者五十餘名にして盛宴なりき

【大邱】

▲寺內總督來邱　寺內總督は十一日忠州より尙州を經午後七時大邱著の特別列車にて來邱十二日道廳、警務部其他の諸官署を巡閱の豫定なり▲白水軍參謀長　白水軍參謀長は公務を帶び十一日來邱十二日公州に向て出發の豫定なり▲兵營道路買收準備　大邱兵營道路は既に是が實測を了へ一兩日前より買收地の調查に著手せるが遲くも來月中旬頃には工事に著手する見込なり▲土木派出所決定　慶北道にては管內土木事業監督の爲め慶州、安東、尙州に土木派出所を設け兒玉信次郎技手を慶州に、本德卓二郎技手を尙州に、布施義雄技手を安東に各々任命さる▲講習所蠶兒發生　慶北蠶業講習所原蠶種製造所の配布せる朝鮮總督府原蠶種又昔蠶量三十匁は本月七日掃立を了し所員多忙を極めをれり▲漆谷畜産組合設置　慶北漆谷郡にては病疫豫防耕牛改良の目的を以て漆谷面外六面長連署して畜産組合設置請願書を其の筋に提出せり▲農校生徒修學旅行　大邱農業學校生徒は大西校長及び職員引率の下に十日慶山地方へ修學旅行せり

【安東】

▲金融　慶北安東客月の金融界は幾分の緩和を來したるが如し即ち麻布の出廻り盛んにして目下約八千疋を下らず價格も前年に比し騰貴し平均三圓五十錢見當なりなほ洛東江開航の爲め出廻穀物相當にあり爲に金融界活氣付く▲金利　內地人間普通五分內地人對鮮人五步五厘位にて最高七步最低三步を上下しつゝあり▲市場　農繁期の爲め市場出廻り少なく重なる物資米百九十一石麥類百四十石粟二十七石荏子五石大豆二百二十七石牛皮二十三枚生牛百六十頭

【平澤】

▲消防組新設　平澤消防組にては從來消防器械一臺を以て經營し來りたるが安城街道の開通と共に米穀の集散外客の來往頻繁を加へ急速の發展を來したる關係上更に一組を組織し器械增設する事となり過般京畿道警務部より新器械の下附を受けたるより去る七日午前七時より岡本署長指揮の下に新消防組の出初式を兼ね器械御をなしたるが成績極て良好なりし▲藝妓芝居　萌え出づる若葉と共に活氣を加へ來れる平澤（平澤旅館加藤本店加藤）支店主催にて十一、十二の兩日開演する平澤は何等の娛樂機關に乏しき事とて非常の人氣を以て迎へられつゝあれば兩日共定めし盛況を呈すべし

◎支那官憲に抗議

去る九日支那官憲に於て濟南府に戒嚴令を布き帝國の治外法權を蹂躪せる爲め我が林領事は支那官憲に對し目下抗議中なり（東京電報）

◎支那官兵の暴行

國際問題惹起せん

青島來電に據れば支那官兵は濰縣に於て同地我居留民の揭揚國旗を寸斷せり爲めに我兩國間の國際問題を惹起せんとすと（東京電報）

◎北京と人心動搖

北京發別電に據れば目下北京は袁總統の退職期業に逼迫し一方段馮兩氏間の反感よりして新內閣は絕えず動搖を來し爲に人心は攪亂され不安狀態に在り（東京電報）

◎國境臨江の賊團

十日上流より歸來せる鴨綠江運輸司所使用支那人の語る所に依れば二三日前鴨綠江上流臨江縣管內に約三百名の賊團現はれ革命黨と策應して獨立を宣言せりと云へるが其筋には未だ確報なし（安東特電）

◎黃興の入京

橫濱沖に於て一旦姿を晦ましたる黃興は去る九日午後二時突然靜岡縣某驛に現はれ其れより某邸に入り十日午後八時某驛を發し同十時四十分品川驛著汽車にて入京せり（東京電報）

◎山縣公復發熱

小田原古稀庵に於て病氣靜養中の山縣元帥は昨今復發熱狀態に在り（東京電報）

人事消息

▲伊藤由太郎氏（貴族院議員）十日夜南大門通過奉天へ
▲城數馬氏（京城覆審法院長）東上中の處十日夜歸任
▲竹山純平氏（元第一銀行京城支店長）十日夜入京
▲橋本助一氏（大田警務部長）同上
▲西崎鶴太郎氏（鎮南浦商業會議所會頭）十一日朝入京浦尾旅館へ
▲雪田男氏（司法局監獄課出張所長）同上
▲梅野實氏（三菱重役）十一日朝入京天眞樓へ
▲神野釜山鎮埋築會社長外七名　十一日朝南大門驛通過安東縣へ
▲伊藤鋏次郎氏（貴族院議員）十日夜釜山發十一日朝京城通過安東へ
▲阪口節造（同上）十一日朝入京
▲鈴木伍三郎氏（釜山地方法院長）十日內地より歸任
▲芥川正氏（釜山日報社長）入京中の處十一日夜發歸釜
▲今川唯市氏（新義州營林廠技師）歐洲より歸任の途次十日午後九時入京天眞樓へ十一日午後九時四十分發北行列車にて歸任

□阿里山巓より　五月三日夕　文哉生

七千尺の山頂「氣十一月の秋にて候。明朝は新高山を望見し得る地點まで參る可く候。一車廿里幾轎、過盡白雲又綠灘、阿里山高七千尺、萬年靈氣逼人寒。

□甲州山中より　五月八日　矢島軍醫監

著京後早々臨時檢閱の途に上り今甲州の山中に在り。綠光る溪の川波鮎上るらし

平壤支局移轉廣告

本社平壤支局は今般平壤府壽町第百三十四番地に移轉し尙電話番號は七三七番に改定致し候間此段謹告候也

五月十日　京城日報社

▲廣告▼

商業登記公告

支店設置

商號大塚合名會社、本店大阪府堺市熊野町西貳丁目壹番地、支店大阪府東區橫堀壹丁目貳拾貳番地、北海道小樽區湊町參拾八番地、關東州大連市吉野町貳丁目參拾四號地、京城府南大門通貳丁目百貳拾貳番地、目的清酒ノ醸造及其販賣並ニ精米業、保險代辨業、物品販賣業、設立年月日大正四年拾壹月壹日、代表社員ノ氏名大塚和三郎、朝鮮ニ於ケル代表者ノ氏名住所京城府南大門通貳丁目百貳拾貳番地田中竹次郎、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格、大阪府堺市熊野町西壹丁目壹番地、金拾八萬圓大塚和三郎、大阪府堺市甲斐町西參丁目拾八番地金六萬圓大塚俊次郎、大阪府堺市熊野町西壹丁目壹番地金六萬圓大塚貞次郎、存立ノ時期、設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年

商號新設

商號藏原蔘精堂、營業種類高麗人蔘越幾斯並ニ同製劑同應用品一式製造販賣、營業所京城府明治町貳丁目六拾六番地、商號使用者ノ氏名住所、同所藤原龜太郎

地番號ノ設定ニ依リ株式會社朝鮮商業銀行ハ振威郡丙南面平澤里ノ支店所在地ヲ振威郡丙南面平澤里百八拾五番地ト變更シタリ

右大正五年五月八日登記

京城地方法院

數ある中をM印は特に撰ばれて最も進化御買上の光榮を得たる最優良品に御紀念願ます

賣行盛に　倍々發展

Mゴム

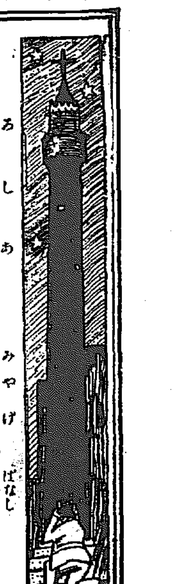
三田土ゴム製造合名會社製造

發賣元　大阪市　飯田商店

大邱軍威義城安東間
定期乘合郵便馬車
小荷物速達、代金引換
小荷物、物品委託輸入　荷馬車業開始
安東邑內　郵便馬車　主任　國井定次郎
大邱營業所
錦町　電話五一八
大邱營業所

鐵砲は
橫濱の金丸銃砲店に限る
（御望みの銃砲名例へば獵銃とか空氣銃とかピストルとか）
（御知らせ下されば直ぐ）

食料品
よい品を安く賣る店
京城旭町
川西商店　卸部　小賣部
電話長一三六七番　振替京城一一



●露西亞の土産話

ペトログラードは夜の都 □御馳走は午前三時から出る 華やかな貴族の生活

─遣露救護班長 上野醫學博士談─

ペトログラードは夜の都である凡らゆる社交界の會合や往復燕飲は凡て夜を以て行はれる上流社會に成れば成るほど夜更しをして睡眠不足する

◇事を一種の自慢

として居る冬期中は殆ど太陽の顔を見る事が出來ない曇天の如うな朝が來たと思つて居る内にもう漸々に暮れて夜に這入るのであるから殆ど夜ばかりの世界であると云つても好い位であるそれであるから凡ての仕事は夜に成つても一向に構はず續けて居る商店も開いてあれば物貨の運搬も行はれて居る又此の期間は露國の

◇社交シーズン

として外國からも澤山な遊覧客が入込んで來る夏期になると又殆ど晝許りの國であつて烈々たる太陽が漸く沒して少し日が陰たと思ふと間もなく曈々たる朝日が昇ると云ふ有様である私共も昨年の夏頃からは殆ど毎日の如に露國の貴族達から招待されたが毎時も招待状には午後十一時からとか十二時から來と云ふ風である大抵は茶に菓子果物位で

◇話し合つて歸る

のであるが時々御馳走が午前三時頃から運び出される様な事のあるのには閉口する斯んな風であるから上流社界では朝の六時頃から正午頃まで寝る人達が頗る多い様である露國では貴族と平民とに二大別されて居るが同じ貴族と云つても日本などの所謂貴族とは大變に趣を異にして官吏は殆ど貴族である陸軍少尉になつても

◇既に一代貴族

とか現職貴族とか稱せられて居る佐官になればもう永久貴族で退職になつても貴族である故に單に貴族と云つても爵位を持つて居る眞の貴族と官職を持て居るが故の貴族もあると云ふ様な譯である平民は殆ど悉くが無學文盲である小作農夫でなければ職工小商人と云ふ様な有様である彼等は單に命令であるから戰爭に行く命に斷つたから

◇勇氣を出して

戰はなければならぬと云ふ様な單純の考で從軍して居るそれでも彼等は卑怯な兵士や不忠實な軍隊などを見ると「彼は大抵ポーランド人であらう露國人ならばもう少し愛國心に富んで居る筈だ」などと云つてゐる

□高塔に輝く金色の十字架

あゝ尊き信仰の街よ

─救護班通譯宣教師 森田亮氏談─

私は露國へは何回も行つた事があります私は四ッ谷の正教會を牧して又神學校を經營して居りましたが一昨年救護班の通譯として渡歐しました露西亞人は御承知の通り非常に強い信仰を持つて居る國民でありますから宣教師の通譯は

◇非常に信用を博

しました露西亞人は如何なる重い病人でも土曜日日曜日には必ず禮拜する事になつて居りますから何處の病院にも必ず禮拜所に宛てた祭壇が設けてある我救護所へ收容されて居る負傷兵なども土曜日日曜日などには傷の痛さも忘れて教會へ行き度いつて云ふので昨年冬に至り我が救護所の中へも七千圓かり掛けて

◇莊麗なる禮拜壇

を設けました禮拜所が設けられて居ると彼等は非常に安心して土曜日曜毎に這つてでも禮拜所に來ると云ふ熱心である愈々救護所を露國の赤十字社に引繼いで歸ると云ふ際に私が患者に一々其の旨を告げると彼等は甚たく別れを惜んで信仰の父よ慈愛の母よと

◇子供の如うに

聲を揚げて泣くのである私も暗涙を呑んで救護所を出づると市中には其處にも此處にも高塔が聳え立つて居る此等は皆な寺院で塔の尖頭には金色の十字架が目も眩むばかりに輝いて居る、あゝ尊き強き信仰の街よと私は其の有難さに敬虔の態度と心とを以て祈禱を捧げずには居られなかつた

●罪を悔ゐて自首

龍山漢江通り居住元通信事務員瀧澤辰雄(三)は本年一月より四月迄通信事務取扱中現金又は有價證券を拔き取る爲め信書三通を開封隱匿したる爲め罪を悔て其筋に自首し出でたり

●變名せる革命黨員

天津より門司に上陸す

十一日朝天津より門司に入港せる大東丸にて有賀と變名せる革命黨員下の關に上陸し九時發列車にて東上せり氏は黄興氏出迎の爲めなりと同船員の語る處に依れば

袁は既に英國へ四千八百萬圓米國へ三千萬圓を送金し

猶退職後はモリソン氏の差圖に依り英國へ亡命すべく其の際一時の避難所として目下奉天某租界に其の準備中なりと(門司特電)

□五月昇進力士 (上段右より)大蛇潟、八甲山、栃木山(中段右より)浦の濱、西の海、源氏山(下段右より)石山、綾川、宇都宮

●夏場所新番附發表

豫期の通り變動尠なし 東西兩軍の陣容漸く整ひ來る 興味ある今場所の對戰

滿天下の好角家の刮目して待ち構へし東京大相撲五月場所新番附は豫定の通り五月十一日午前五時大相撲協會に於て發表せり右新番附を通覽するに極めて平凡にして何等の奇なく總て順當にして近年稀らしく振はざる如くなるも實際は協會役員も本番附編成には尠なからぬ苦心を拂ひたるなるべし何となれば一月場所に於ける東方の如き勝越力士多數なりしため星を十分に發しながら元位置に留まり又は負越なきにも拘らず突落されたるものあるを以て見るも知るべし然かも大體より見れば西方にて綾浪、玉椿の廢業によりて番附面よりその名を除かれたる代りに紅葉川、明、敷島等新鋭力士の入幕せるあり加ふるに本年は太刀山、朝潮、伊勢の濱等の大頭は全部出場すべく元氣者の大蛇、浦を始め石山、大鳴戸、玉手山等の中堅が何れも元氣にて出羽の海部屋の精鋭に當るべく東西の權衡は今場所に至りて漸く保ち來れるの觀あり頗る興味ある對戰を見るを得べし

▽新番附評

宿志を達した新横綱西の海

東方は相變らず出羽の海部屋、井筒、西の海部屋力士を以て固められてゐる、西の海が勝八分の一の好成績で多年の宿志を達して横綱に張出されたのは當り前だ本人は正位を望んだであらうが先づ此の邊が穩當だらう一層の努力奮勵を要するわけだ、勝八に負二の

▲大錦が正大關 となつたのは前場所の關係もあり當然である、勝六に負二預二の綾川が關脇に張出されて勝七に負三の栃木山が一枚進んで小結となり兩國が勝八に負二の好成績を示しながら栃木の後を襲つて筆頭に据つたのは栃木、綾に鳳を喰つた金星があるせいだらうが、九州山が勝八負一で三枚飛んで前頭二枚目となつたのは源氏山が勝九負一で十枚

▲飛んで三枚目 に宇都宮が勝八負にて八枚飛んで四枚目に戻つたのに比較すれば物足らぬ感がある頭の閊へてゐる東方では致し方が無いと言はねばならぬ、此の外釋迦ヶ嶽、紫雲龍が五分位の成績で舊位置附近を迂路ついてる外は四海波の七枚下がつたのを筆頭に岩木山、大の川、龍ケ崎、朝緑、逆鉾などが二三枚から五六枚落されてゐる

▲幕下へ陷落は 緋縅一人で西へ復歸した鳴門洋の代りに梅川、玉の川が歸り新參稻葉嶽が新入幕で入つて來た新十兩は荒石、太刀嵐、大の里、大の高の四人だ

▲西方は例に依 つて友綱、雷、高砂、宮城野、伊勢の海系の聯合軍で東方に當らうとしてゐる、前場所各力士の成績が思はしく無かつた丈に東方よりは變動が多い樣だ、久しく土俵の花と歌はれた玉椿、綾浪の名が削られたのは惜しい様な感がないでもない、太刀山は別として朝潮が全休のため勝星二を殘しては休場した伊勢の濱と入代つて張出となつたのは當然、負越しの大蛇潟が玉手山のあとを受けて關脇に進んだのに

▲五分の成績で 一枚飛んで小結にしかなれない浦は氣の毒だが大蛇は九州山、綾川の強敵を破つて居り前場所の成績も惡くなし平素の勉強にもよるのだ石山が勝五負五の五分の成績で五枚飛んで筆頭となり大鳴門が負越しで二枚目に上り八甲山が負四勝五で七枚飛んで四枚目に昇進したのや東から復歸した鳴門洋が負五勝五で五枚目に据えられたのなどは之れも

▲已むを得ない 陷落組では玉手山の勝一に負六、金の花の勝二負八、黒瀬川の勝二に負七、土州山の勝二に負八など隨分酷いのがあるが餘り降つてゐないのは落行く先きが無いのは勿怪の幸ひとも謂ふのだらう、幕下陷落では病氣で廢業する筈の小野ヶ崎一人で新入幕は紅葉川、明、敷島の三人だ新十兩は大潮、浪泉、兒島洋の三人だ

▽東京大相撲五月場所新舊番附對照表△

東の方

新幕內

地位	力士
橫綱	西の海
關脇	綾川
大關	大錦
關脇	對馬洋
小結	栃木山
前頭	兩國
同	九州山
同	源氏山
同	宇都宮
同	釋迦ヶ嶽
同	紫雲龍
同	小常陸
同	近江富士
同	岩木山
同	大の川
同	宮城山
同	梅川
同	朝緑
同	稻葉嶽
同	四海波
同	龍ケ崎
同	玉の川
同	逆鉾

舊幕內

地位	力士
大關	大錦
大關	西の海
關脇	對馬洋
小結	綾川
前頭	栃木山
同	兩國
同	小常陸
同	釋迦ヶ嶽
同	九州山
同	岩木山
同	紫雲龍
同	四海波
同	鳴門洋
同	大の川
同	龍ケ崎
同	宇都の宮
同	源氏山
同	朝緑
同	宮城山
同	逆鉾
同	緋縅
前頭	近江富士

新幕下

地位	力士
前頭	緋縅
同以下	一葉嶽、千ケ岩、國瀬山、成門岩、大ケ谷、藤見崎、國口山、朝石、荒島、男嵐、太刀(小錦改)、二十山、大の里、大の高 [illegible]

舊幕下

地位	力士
前頭以下	梅川、小錦、男嵐、刈藤、明、駒泉、響ケ浦、四國洋、國見崎、國ケ岩、成瀬山、朝日谷、藤ケ柳、玉の石、平 [illegible]

西の方

新幕內

地位	力士
橫綱	鳳
大關	朝潮
橫綱	太刀山
大關	伊勢の濱
關脇	大蛇潟
小結	浦の濱
前頭	石山
同	大鳴門
同	玉手山
同	八甲山
同	鳴門洋
同	鶴渡
同	金の花
同	黒瀬川
同	寒玉子
同	巽石
同	千年川
同	土州山
同	稻砂
同	紅葉川
同	明
同	柏戸
同	敷島

舊幕內

地位	力士
橫綱	太刀山
大關	朝潮
關脇	玉手山
小結	大蛇潟
前頭	金の花
同	浦の濱
同	大鳴門
同	黒瀬川
同	綾浪
同	石山
同	土州山
同	千年川
同	巽砂石
同	稻甲の山
同	八渡り
同	鶴玉
同	玉椿
同	柏戸
同	寒玉子
同	小野ヶ崎
大關	鳳
橫綱	伊勢の濱

新幕下

地位	力士
前頭以下	小野ヶ崎、響ケ浦、藤の川、駒泉、大西、八幡山、櫻川、黒瀬改、外ケ濱、常の花、刈藤川、四國洋、浪泉、兒島洋 [illegible]

舊幕下

地位	力士
前頭以下	敷島、紅葉川、玉の花、常の川、留葉、千葉嶽、一ケ橋、梅の角、高千山、黒瀬、八幡、荒石、立界、佐賀の海 [illegible]

●漢江岸から古い大理石の碑

石を發見す

龍山二村洞漢江岸の砂原中より此程同洞の者が年代を經過せる大理石の碑石らしきもの三個を發見したり一箇は屋根石の如き形態にて長さ四尺巾三尺高さ二尺五寸あり二箇は何れも臺石らしく長さ四尺巾及び高さは各二尺五寸位にて中央に穿孔あるより見れば之に碑柱を嵌めたるものなりたるより周圍は磨滅して何れの時代の彫刻物なるかは不明なり目下同洞の李某保管中なるが考古學者の一資料なるべしと

●紳士風を裝ふ大泥棒

京畿道開城郡松都面滿月町林泰享(三)は立派なる服裝をなし常に官吏或は貿易商なりと詐稱して各所を徘徊し大正三年二月二十一日夜京畿道楊州郡廣石面芝谷里の酒幕業鄭永植方に約二十日間も滯在し折柄同家に泊り合せたる江原道平康居住の狩獵業川上某の所持金品約三十圓を窃取逃走し爾後三箇年に亘り忠南、江原京畿の三道を荒し廻り此程入京して紳士風を裝ひ朝鮮旅宿に泊り込みて枕探しを專門に稼ぎゐたる所を鍾路署の刑事に取押へられ目下取調中なるが被害場所は約二十箇所にして其金額五百圓以上に達すべしと

●自轉車と衝突 京城惡化洞金淳同(三)は十日午後五時頃自轉車にて鍾路五丁目の路上を疾驅中同路上にて遊び居りし鍾路五丁目金夫祐二女順伊(七)に衝突して突き倒し頭部に打撲傷を負はせたるも淳同より治療費を支給して示談事濟み

●花園婦人會 臨濟宗妙心寺別院にては十二日午後一時より花園婦人會例會を開き後藤瑞巖老師の法話あり

●中野警務官令孃の訃 中野警務官令孃品子は先月三十日胃潰瘍に罹り入院中の所十一日未明遂に長逝したり同人は今年三月京城公立高等女學校を卒業せし才媛なりしに惜むべし享年十七歳

本紙愛讀者に紹介 記者 水南生

幾萬同病者の爲め 自己病軀を捧げて

肺病の試驗に提供す

血涙を揮ひ秘密試驗眞相を公開す

記者知悉せる紳士安原氏は曾て險惡なる肺病に罹り咳嗽、喀血、發熱、盗汗等あらゆる病苦に攻められ身神共に衰弱し憔悴の將に滅せんとするが如き果敢なき運命に陷られつゝ大家の療法も效なく悲觀の折柄獸や蟲の黒焼を服めとか毒蛇の生血や臍を食へとか甚だしきに至つては云ふに忍びざる方法をさへ奨めた人もあつた……然れど氏の生家は醫家で氏も又醫道の何ものたるを解して居られる當時代の迷信的療法抔を空頼みとせず新醫學の光明が旭の山川を照す如き現代に於て必ずや進歩せる學說の示す所に依り病理に適切なる合理的療法を發見し得べしと確信し氏の實弟專門醫とも協力し一心不亂に研究せられあらゆる實驗を試みられたのである結局氏の病軀を捧げて幾萬同病者の身變となり肺病療法の試驗に供したのであつた然るに最後に氏の熱心の賜として得た結核菌を崩壞死滅せしむる確信ある奇藥を服用するに及んで空前の卓效が不思議な程著々と現はれ總ての病苦も日毎に減じ約三箇月程にて全治の狀態となつて今日では體重十八貫もあり人に羨まれる程強壯で愉快幸福に活動して居られる我身捨て人の痛さを知れとの譬の通り氏も亦自己の慘憺たる病苦が身に泌み同病相憐むの至誠より温かい同情を以て人助けがしたいと決心し其後同病者に實驗せしめて見ると其卓効驚くべく現に數千人の患者を救ひ實に心嬉しく思つて居られるのであるが氏は一人にても多くの患者を救ひたい赤心より初期の患者も重態の人も自宅で獨診斷が出來る樣又療法で速に病苦を免れ復活幸福の日を指折り數へて期待し得られる樣詳細なる說明書を作り希望者に頒ち居られるが學理と實驗の一致せる現代の最善療法にして濟生の恩惠多大なるより武勳赫々たる東郷元帥を始め久我侯爵土方伯爵より光榮ある讃辭を賜はり又多くの醫學者より證明を得特に其内容は肺病全治の的確實驗として氏が熱誠の血と同情の結晶であるから肺病肋膜氣管支患者は是非第一著にハガキで東京日本橋區吳服町二安原尙親氏へ(京城日報紹介と記入)申込まれなば無代で密送するとの事である

演藝案內

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 黄金町四丁目 電話二六三七 **黄金館**

○五月十三日より差替の特別大寫眞 ○實寫伊太利ルクカの噴水 ○喜劇コーザンチー ◎新派活劇 變化島田 全三卷 大井、木下、五味トンボ合一行の出演にして天勝[illegible]然たる天然色寫眞 [illegible] 現代社會の裏面を克く穿てるものと云ふべし ▲伊太利チネス會社特作品

◎英獨海戰 S一號 全三卷 英獨潜水艇ゲリー氏の發明に係る[illegible]せるエス一號潜航艇の如何に英國海戰に效果を示したるか實に[illegible]しめ果はず快哉を叫ばしむ中に[illegible]戰爭實寫を背景とさせる近來稀に見るの大フヰルム ▲尾上紋十郎、海老十郎一座大車輪劇 ◎復讐美談舊劇 笠森お仙 全三卷 草加宿の名主忠右衛門は娘お仙を遊女にせんとしたが上州屋太兵衞は是を救ふて後笠森稻荷に[illegible]見世を出さず偶々仲間市助の爲めに斬殺せられて無慚な最後を遂げたが女の熱心は遂に[illegible]されたりて笠森稻荷境内に[illegible]ると云ふ(一名お仙が茶屋)見得た[illegible]退け内容の充溢せる是れ當館の特色なり

本町 電話五七八 **壽座**

▲改正義團一行 五月十二日藝題 罪の子 安田咲子(池田)深田老人(乾)石山秀郎(總領)尾花正行(西村)石山錦夫(都島)夫人政枝(西島)お花(小森)安田欣一(秋島)紳士山口(木村)米田主人(山田)下女お玉(美咲)石山幸左衛門(水谷)安田老人(三輪)

明治町 電話二六〇番 **浪花館**

大阪親友派女流浪界の名人廣澤千代 五月七日より ▲大名五郎藏(廣澤小菊丸)▲天保利根の血煙(廣澤松扇)▲刑事苦心七化お瀧(一京山光治)▲丸龜の大仇討(座長廣澤千代)▲拼慶勸進帳(顧問廣澤虎吉) ○入場料大勉强一等三十錢二等二十錢三等十錢 ○晴雨に不拘毎日午後正六時開演任可候

大正館の特別興行 松之助延一郎合同大撮影 二百年忌追善興行 實錄 **崇禪寺馬場敵討** 侠妓榮の奇しき線を現したる 新派大悲劇 寫眞 **黄菊白菊** 長尺に付 正六時半開演 **大正館**

壽町 電話一〇五〇 **壽館**

落語(桂都遊)同笑話(三遊亭福助)[illegible]の花(桂家一蝶、二蝶)落語音曲百面相(三遊亭[illegible])[illegible]落語(芝居こわいろ)(桂兒笑)[illegible]手踊の四[illegible]盆仙(桂都雀)落語笑話一流舞踊(三遊亭一圓遊) 入場料特別大勉强 一等三十錢、二等二十錢、三等十錢

櫻井町 電話八七三 **大正館**

五月十一日より特別大興行最新フヰルム提供 ○實寫活動寫眞園遊の實況 ○滑稽亞米利加土產 ▲米國サンサウサー會社傑作 [illegible] ◎奈良西奇談 花盛り 全[illegible] ▲福澤淺二郎立花貞次郎[illegible]合同[illegible] ◎新派大悲劇 黄菊白菊 全三卷[illegible] ▲高橋家[illegible] ○[illegible] ◎實寫 巴里の百景 ▲日活[illegible] ◎實錄 崇禪寺馬場敵討 全四卷 [illegible]

御成町 電話二九一 **御成座**

三府合同歌舞伎 市川海老松 坂本龜鶴 大一座

昼狂言 前狂言 女庭訓 妹背山 五冊 切狂言 伊達大木戸 一場 [illegible] 入場料 一等四十錢、二等二十五錢、三等十錢

消毒全乳設備完全 大邱 **吉田牧場** 錦町 電話四二番

●愛妻は獨逸人 ▽本人の希望で歐洲戰亂の[illegible] [illegible] 逝せるが市太郎氏は其の後家督を繼ぐを欲せず出來得可くんば歐洲戰亂の終熄後には再[illegible] 旨申出でたるが家督は長弟の源之助氏が相續すれば支障無きより相談を履行すとの言渡しありたり因に市太郎氏は目下滿鐵技師として大連に[illegible]

[illegible] 丁目竹屋旅館竹次郎方に宿泊し本籍地名年齢身分職業を詐稱し居[illegible]せられたり

[illegible] 十日午後釜山入港[illegible]

……留學中露逃國の婦人を娶り當年四歲の男子をさへ舉げ昨年八月中相携へて歸國せる由は當時の紙上に報り家督は繼がず自由の身となりて……とて嚴父市兵衛氏並に親戚一同に共……日判決あり兩方の希望通り市太郎氏……泰造長男住所不定の渡邊清(十七)といふチンピラは本月六日仁川花房町二……山人池櫻九……

京城の城壁(11)

陸軍砲兵正領　魚潭氏談

ルーズベルト氏の令孃が城壁巡りをしたのは今から十二三年以前のことであつたが自分は其の際侍從武官として烏渓北岳に登つたことがあります、其の後は一向登つたことが無いから何ともおはなしする程の材料も有ちませぬが單に築城といふ點から見ると

京城々壁は海に面しての同樣なものであつて　これを日本及び支那の城廓と比較すれば非常に劣等なものであるといはれます、初め京城の築城に就いてはいろ／＼と當時の武將間に議論が鬪はされまして或る論者は今の南山、仁王山、北岳の外圍に城壁を設けやうと主張しました、其の理由とするところは若し山巓に城を設けるとすれば敵も登るのに困難する代り味方も進出自在とは云はれませぬので詰り利害相等しいといふのにありました、しかし

反對論者は專ら經濟の點から考へて低い平地に城壁を設くるよりも山上の天險に據つた方が好いといふのであります。これを今日の戰術から考へると全く前者の説が當つて居ると思はれます、元來京城といふ處はただに李朝に至つて國都となつたのみでなく遠く二千年前から國王の都した土地であります、最初に來たのは百濟の温祚王であつて次に高句麗がやつて來る新羅が來る後ちまた高麗朝李朝となつた譯で今の城壁が築かれたのは

李朝の時であるけれ共
其の以前は周圍の山に分派などが築かれてあつたやうです、國都としての京城の由來は彼の輿地勝覽や柳觀の定都論、鄭道傳の日記、僧道詵及び無學の地相觀、擇里誌などの書物に記されてあるが猶ほいろ／＼の傳説もあるやうです、初め高麗朝の僧道詵は當時の國都開城(松嶽)に澤山の鐵犬を埋めたと云ひます——それは京城三角山の頭が始終國都を窺視して居るやうで頗る心配で堪らぬところから用意の番犬として

見張の犬を置いたものと
見ねますこれと類似の
おはなしは擇任の向ふの冠岳山と景福宮の關係で、冠岳山は由來火山と謂はれて居るから從つて其の眞向ひにある宮闕は火災の擄が無いとも限らぬといふ今の南大門外の交番の所に大きな溜池を掘り、光化門の前に二頭の海駝を置いたといひます、次に北門外洗劍亭附近の水門あたりは城壁が二重に築かれて

ありますがあれは李朝第十一代目の仁祖の時に出來たもので仁祖は曾て自分の叔父に當る

光海君の王位を奪ふ時
今の洗劍亭附近の
森林中で謀を企てたので
其の後自分が王位につくに及びても猶ほ森林中の密議を慮つたものと見ねます、此の事は京城附近に禿山が多いことゝ非常な關係が有る事でむかしは京城附近一帶に美しい森林があつたにも拘らず朝廷では猛虎の害ありと稱して盛んに伐り倒したものですが其の實王位を窺ふ虎狼の臣を虞れたものと見ねます、また白岳の

後方三溪洞の川に沿うたあたり補土峴といふ丘がありますが
彼地は地相から云つて
無くては國都の爲めに
北漢山に連絡が
運が惡いといふ説に從つてむかし民夫を使つて丘を築いたものゝやうです、猶ほまた京城の城廓が古來如何程戰鬪に効果があつたかといふと殘念ながら曾て一度も役に立つた例がありません、彼の文祿の役にも朝鮮軍は一戰に及ばずして城を捨てました、次ぎに支那の清朝から攻められた時も國王は廣州の南漢山に逃れました、それに李适の反逆にも國王軍が鞍峴の丘から攻め降つたのみで別段城廓は用を爲して居りませぬ

城壁廻り

■十四日(日曜日)朝七時半南大門小學校運動場集合＝八時出發(時間勵行)

■順路　南大門—西小門—西大門—佛岩—無學峴—仁王山—彰義門—白岳—肅靖門—城北洞—東小門—駱駝山—東大門—光熙門—獎忠壇—南山—漢陽公園—解散

■會費は要せず

■辨當は各自携帶のこと

■肅靖門内にて晝食後陸軍砲兵正領魚潭氏の京城の城壁に關する講話あり

■途中肅靖門、獎忠壇二箇所の休憩所には茶の用意あり

■參加＝內鮮人隨意

◎總督府製の浴用蔘精　京城南大門外の板倉支店より賣出せる人蔘エキスは朝鮮總督府製造にして一般民間に製造を嚴禁せられ居る紅蔘にて製造せられ其品質成分卓効なるものなりしが今回更らに朝、總督府新製品として浴用蔘精の發賣を開始し其賣行頗る良好なりと

◎淺川醫院と一般患者　京城本町五丁目に開業中の淺川醫一氏は陸軍々醫出身にして去る四十三年中朝鮮總督府大邱慈惠醫院醫官として三箇年餘龍山鐵道病院長等に歷任昨年來京城遞信病院の囑託醫として勤務の傍ら自宅に於て私立醫院を開き診療に從事し居れるが一般患者に對して頗る[illegible]なる由

西洋の城壁

▽燕の巢の樣な▽歐洲大名の城△

□城壁巡りは好い御催しですね御供したいものです、西洋にも城壁は大ありです英國の[illegible]ルですれ、紐育の寶島たるウオール街は昔和蘭人の城壁の有つた處だから城壁町さいふのです、巴里は有名な城壁で圍まれた都會です。

□昨今攻擊戰中のヴエルダンも有名な城塞がありまして市街は全部城壁に圍まれ一隅に一箇要塞があり、其の周圍三四哩の間に數十の要塞が散在してます

□其の一要塞たるドーモン要塞の攻擊に二十五萬の獨逸人——日本常備兵の全員と同數と死者を出したのですからヴエルダン城の如何に大仕掛であるかは御察し下さい

□西洋の城壁は日本の城と同じ／＼獨逸語では城をシロスと申しますが不思議ですね——敵が何處から來ても十字砲火を浴せ掛ける樣に星狀多角形をして居りますが、朝鮮や支那のは簡單な四角形や圓形をしてるのは變ですれ

□或は攻城戰に經驗が無い人が築いたのでは無いでせうか三百年前攻城戰の發達した日本のサムライが來た時に朝鮮人が戰爭をしないで城を明け渡したのは當り前の話です

□城壁は生命財産を保護する最も大切なものでありますから古來神聖視されたもので羅馬のユスチニアン帝の有名な法律の中に城壁は神聖物なるが故に私有物となすことを得ずとあります

□西洋にも矢張山城と平地の城があります、米國の文學者アービングのスケッチブックの中に歐洲大名の城を燕の巢の樣だと評してますが實に穿つてます

□獨逸帝室の御苗字ハウヘンゾレルンは鷹城町と云ひますがこれは祖元が山砦の親分だつたのでせう、併し獨逸カイザーの苗字は「高い利息」ですがまさか祖先が高利貸では無かつたでせうれ

□何しろ日本や歐洲では武器と戰術の發達と共に段々改築せられて仕舞ひましたが朝鮮から支那にかけては極めて原始的なのが遺つてるのです

□見る人々によつて面白い研究が出來るだらうと信じます、どうか十四日は好いお天氣であれかしと祈ります(工藤陸軍騎士談)

宮本武藏

第三十五回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

覺禪坊胤榮は右の歌の意味が分りませんから一間の中へ入つて考へて居りました　胤「我身より我身に勝る我身あり其また我に負ける我ありといふのは禪家の悟りだな、ウーム彼奴尋常の人間でない、今まで諸國の侍と立合をしたが此樣な不覺を取つた事はない、ハテ俺は天下の名人胤榮に敵する者はないと慢心したために少し技倆が下つたかな、俺が餘り彌慢增長した所から魔がさしたのではないか、是は今一層修業しなければならん、怠ると跡戻りがするものだ」と急に心付いたから其からといふものは素槍を取つて一生懸命に修業をする、二六時中更に油斷なく、括う突懸る先方が括する、括う操込むと工風に工風を凝らし或日肩が凝つて來たから槍を持つたまゝでブラリと宅を出て猿澤の池の邊りへやつて參りました、この猿澤の池は奈良の名所、平城天皇の御製にも

「猿澤の池もつらしな吾妹子が
　玉藻苅りなば水も干なまし」

とある之は采女を悲しんだ御詠、その采女の衣掛柳の邊りへ來て胤榮が佇ずんで居ると日がドップリと暮れて三日の月が雲間にキラキラ輝いて居る、何心なく胤榮が槍を肩に懸けて池の面を覗くと水上に映る三日月胤榮の肩の槍の穗先へ鎌形に映じた之を見て胤榮ハタと手を拍つて　胤「之は良い事に氣が着いた、素槍に此鎌形を付ければ便利に違ひない」と喜んで自宅に戻り、其夜の中に工風して鎌槍といふものを造らへ、翌朝道場へ立出で、振つて試みると至極良いように思はれる　胤「ツム之なれば大丈夫だ……コレ／＼表看板がないと誠に體裁が惡るい看板を早々造らへろ　○「先生モウ看板はお止しなすつた方が宜しうございませう、看板を出しますと何處から來るか忽ち飛込んで來て先生を突倒して看板を持つて往つて了ひます、あんな物は出さないでも先生のお名前は世間で知つて居りますから決して差支へございません　胤「ナニ然うでない、一旦出した看板を外され放しにはならん早々出す」其から又々看板を造らへ今度は「鎌寶藏院流槍術指南覺禪坊胤榮」と書いて表へ出した、間もなく表へ○「頼む　門「ドーレ」出て見ると例の侍　門「ホーラ又來た」言はない事ぢやアない、看板を出すと乾度來るんだ、呼出を懸けるやうなもんだ　侍「コレ／＼坊主にさういへ、一度ならず二度ならず持ての外の看板を懸け、天下に人がないと心得て居る強慢無禮の馬鹿坊主、今日は手酷く打懲らし次第に依つては息の根を止めて異れるから覺悟をいたして對手に罷成るように申せ　○「ヘエ……先生大變で　胤「何だ　○「來ましたアノ侍が、色の眞黒な眼玉が鍍餘色に光つて居る髮の毛の赤く縮れた忌な侍が來ました、一度ならず二度三度傍若無人の看板を出す馬鹿坊主、今日は手酷く懲らしてやるといつて大變に威張つて居ります　胤「アハ、馬鹿侍が來たか、道場へ通せ、今日は大丈夫だ先日のやうな不覺は取らんから安心しろ　○「先生大丈夫で、又目を廻すといけません　胤「大丈夫だ」と、胤榮道場へ出て來て　胤「先日は意外の不覺を取つたが能く今日は參つた、今日は斯樣な得物を持つて對手をいたすから左樣承知を願ふ」と新工風の鎌槍を夫へ持出した　胤「ハ、ア鎌槍が、拙者も鎌槍を以つて對手をいたす、貴樣の槍と同じだ」と擔いで來た槍を出したのを見ると胤榮のと同じ形ちだ、胤榮「オヤ何時の間に俺と同じような槍を造らへて來たか妙な侍もあるものだ、併し何程の事やあるべき」と充分支度に及んで互に位取りをいたし、ヤッと喚いて突懸る槍、例も先方に刎上げられるから注意して其手を食ぬ、先方で捌んで刎ねようとするを引外して先方の槍を捲落さうと致し一上一下一往一來春燕の雨を縫ふ如く、秋鷹の霧を潜るが如く、半刻ばかり挑合て居ります、門人一同酒に醉へるが如く手に汗を握つて見物して居る中に件の侍が大喝一聲　侍「坊主待てッ」と聲を發し

泌尿器病　腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　疳瘡　皮膚病　專門　入院隨意(診察夜九時迄)　永樂町二丁目　金光教會隣り　安部醫院　電話一四九一番

婦人科　産科　二宮醫院　京城壽町四一　電話一三〇一番
二宮亮吉歸郷中九州醫科大學産科婦人科教室醫學士錦見慶介君を聘し從前の通り診療可仕此段謹告候也

五月十三日九星
舊四月十二日庚戌
本命五黄　八方取先負

△五黄[illegible]　△六白[illegible]　△七赤[illegible]　△八白[illegible]　△九紫[illegible]　△一白[illegible]　△二黑[illegible]　△三碧[illegible]　△四綠[illegible]

商況

東京株式特電　十一日　前場寄付　大引

日本郵船 二〇、五〇 一九、四〇
京城電氣 [illegible]
日清紡績 [illegible]
新潟鐵 [illegible]
同新 [illegible]
日本製粉 一〇八、〇〇 一〇六、〇〇
東株第二 [illegible]
東株第一 [illegible]
東新第二 [illegible]
東新第一 [illegible]

債券現物特電　十日川東値段(前日との比較)

東洋拓殖	六四、〇〇
京城電氣	五四、〇〇
朝鮮銀行	一四八、五〇
朝鮮元所	一一五、二〇
南滿鐵道	一四四、〇〇

公債直取引特電　十一日川東値段(前日との比較)

九分特別	九六、四〇
五分利公債	八二、三〇
四分利公債	八一、三〇
甲号五分	九六、二〇

深川在米特電　十一日現在高

朝鮮米	九九、〇六八
朝鮮米	七九、九五八
内地米	二〇、六九三

東京期米特電

十一日前場七月限	一五、二九
寄付	一五、三六
高値	一五、二五
安値	一五、三〇
止め	[illegible]

大阪期米特電

	寄付	止め
先限	一四、四四	[illegible]
中限	一五、〇二	[illegible]
當限	一五、五九	[illegible]

大阪株式特電　十一日前場　[illegible]

大阪三品特電

十一日前場		
五月限	一三、二〇	一三、〇〇
六月限	一三、九〇	一三、九〇
七月限	一三、〇〇	一三、七〇
八月限	一四、一〇	一三、一〇
九月限	一四、七〇	一四、八〇
十月限	一四、九〇	一五、四〇

下關期米特電　十一日前場　當限・中限・先限　[illegible]

雜報

● **期米新高値**　大阪期米の十五圓臺に乘ぜたる以來各地共頗る頑强の成行きを示せし關先渉作悲觀の聲と共に賣派の活動ありて九日後場に至り遂に上放れを演じ仁川市場又之に連れて十二圓臺を突破して日々新値を現出するに至れり揣て、爾三日來聯か冷氣を感じたるより更に不順季節を加はへて今前場は大阪六節の六十四錢の高移りに對し十二圓二十錢と一段の新高值を現はし一方賣派の防戰に努むると共に市場は大混亂を演じ強弱の勝入れ愈々深かくして眼先更に一大波瀾を捲起さんとする模樣なり

● **綿糸跳返す**　過日來綿糸は銀塊安と利喰商みに九日の定期綿糸も急騰して上値に運びつゝありし歩調を以つて上値に運びつゝありしの市場は急騰當限六十錢安先限一圓安の崩れ相場を演じたるが頃日來の買煽氣味の未だ全く脫し居らざりしと折柄昨十日には原棉高の好材料を得て形勢再轉人氣を盛返し遂に三圓替と先限五圓臺に復し今前場も引續き手堅き成行きを示せり

● **綿布頓打ち**　綿布は一昨日來の崩れ相場に對する引戻しを報じたるに反し綿布は持合さいふのみならず入氣弱含みとありて頃日來の景勢に似ず漸く頭打ちの氣配を呈せり原因は

場の急反落に人氣の阻喪　**銀塊相場**
阻喪を來せしにあり何分過日來材料の出でざる限り綿布相場も反落あるやも知れず何れにしても此際大差なかるべし

眼先の天井を打つ

● **洋釘依然不勢**　洋釘は其後ずり／＼値格を引下げ昨今にては二吋半二十一圓三吋十八圓となり報の通り

五十錢乃至一圓安を實現せしが眼先尚氣弱き成行きなり

● **慶南の移出穀物**　慶尚南道米穀改良組合四月中移出仕向け先及び移出地左の如し總出二千九百十八個にして日本種玄米四六四一個内釜山より二〇六六個、馬山[illegible]五個、大豆釜山三一七個等なり而して其仕向けの重なる地は大阪一三六三個、廣島四二〇個、下關二五〇個、尾道一四〇個、長崎一九〇個にして前月に比すれば大差なきも例月に比較すれば三割以上の減少なるは全體に於て相場の不換なる結果に依るものなりと

● **釜山穀物出來高**　釜山穀物市場十日迄の賣買出來高

	數量		最高	最低
中白米	一五四個		一一、二八	一一、二〇
玄米	一七六一〇個	同	一一、一五	一〇、五五
右之内日本種		同	一〇、一四	一〇、〇五
大麥	一〇個	同	四、八〇	四、八〇
小麥	八九個	同	九、九〇	九、四〇
大豆	四〇一個	同	七、〇〇	六、八〇
合計	一萬八千三百六十四個なり			

● **餅益々不賣**　米價は既に時價の不調和なる爲めに最近の崩落に伴ひ從つて相場も漸落一方にて昨今

十二圓を唱ふ　更に三四圓安なる[illegible]

浦鹽餅[illegible]

● **明太魚は氣強し**　明太魚は一時産地の小賣みに稍々買氣を認めしも大體が在荷薄とて漸く買付けに産地は其後[illegible]れり元山よりは一品[illegible]

一品薄買附困難　不採算の[illegible]

● **石首魚漸次出廻**　郡山廻りの石首魚は漸次出廻り増加しつゝあり當地昨今の取引價格は[illegible]尾纏の

十八錢處に比して[illegible]

● **粉米ずり高**　[illegible]

十一圓二十錢處なり

下關相場

△朝鮮白米は[illegible]

△大豆は[illegible]

△小豆は[illegible]

△朝鮮一等白米(當用)十二圓五十錢

釜山物市場　十日

△正米(十錢高)大阪定期米も數日間は差したる變動なく一高一下にして保合ひつゝありしが昨後場止より一時に品脂なしの朝寄付は小締りの十五圓四十七錢との入電ありされど矢先とは云へ當地正米筋も頃日期米につれざるの氣配なるため内地相場の好氣配を示し取引所[illegible]

△大豆は[illegible]

△大豆入津なし氣配依然弱人氣

生魚市場

本日の廻着は可成り多き方にて其内大半は統營物は殆ど鯛のみなり釜山物[illegible]

仁川現物市場

△入津なし
△氣配稍好況にて十錢乃至二十錢高
△正米入津[illegible]

南大門の廻穀

天安	米	一二〇叺
西井里	玄米	二六叺
平澤	大豆	一四叺
水原	白米	一〇六叺
水原	大豆	七叺
烏山	玄米	四三叺
烏山	白米	一八叺
金村	小豆	一〇一叺
天安	籾	一八七叺
金村	白米	二七叺

京城雜穀

一般持合ひの裡にも大小豆は氣丈なるに反し北仕の各品は[illegible]

京城正米

定期米は小締り強氣にて本日は十二圓二十錢とに高値に進みたるより正米氣配も依然強勢を持續しつゝあるが[illegible]

(マ)　確實　迅速　廣瀬[illegible]郎　仁川海岸町取引所仲買人　電話一六〇番

市場零聞

▲**前場更に昂騰**　大阪[illegible]

▲**人氣沸騰**[illegible]

▲**中限活躍**[illegible]

遂に十一圓九十錢

▲**更に新高値**[illegible]

形勢一變[illegible]

▲**混戰狀態**[illegible]

▲**⑪吉の大商內**[illegible]

▲**米價の前途**[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　(利)仲買店　電話[illegible]

買出の失敗[illegible]

硬派の失敗に歸し[illegible]

根底餘程强硬[illegible]

高見筋と提携[illegible]

高報[illegible]

昂上期に轉換[illegible]

各地正米の[illegible]

的立直り時期の來る[illegible]

大反動の循環[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店　海岸町三丁目　電話[illegible]

仁川期米

▲**十一日前場**

三錢高の入電[illegible]

六節六十四錢[illegible]

十錢丁度と新高直[illegible]

高移[illegible]

沸騰[illegible]

仁川米豆取引所

十一日の七月限

前場	
寄付	十二圓十九錢
止め	十二圓二十錢
高値	十二圓[illegible]
安値	十二圓[illegible]
出來	三萬八千四百石

平均値段	
一節	十二圓十九錢
二節	十二圓十八錢
三節	十二圓十八錢
四節	十二圓[illegible]
五節	十二圓[illegible]

賣買取組高		前日と比較
五月限	三千三百五十石	[illegible]
六月限	一萬五百五十石	五百石
七月限	二萬五千九百五十石	[illegible]
十月後場	[illegible]	[illegible]

高貴御料

▲生れつき色が白いやうな白さに附く白粉▼

學者の創製したる

美顔白粉

宮家の御料に召さるゝ譯

美顔白粉は學者の創製したる、學術的に完全な最も新しい白粉であります。學者の眞面目な研究で出來た白粉ですもの、衛生上から言つても實際上から言つても完全無缺な事は申すまでもないことで、この白粉の、從來の白粉よりも飛拔けて良いといふ事が次第に世に知れ渡り、大變な人氣を引起しましたにつけ、此事何時か高貴の方々の御聞に達し、昨年の三月始めて御用命を賜つて以來、引續き美顔白粉ばかりが御用命を蒙るやうになつたのであります。

■高貴の御料にのみ奉る各種化粧品（桃谷研究試驗部の光榮）

各宮家御用美顔術大家マリールウ井ズ孃の嚴密なる試驗の結果美顔白粉は日本に於る最善最良の白粉なる事を認められ、高貴の御料に召さるゝやうに成りましたが引續き新式薄化粧料白色美顔水、新化粧液美顔ユーマー、透明化粧水美顔水も亦御用命を辱なうし、桃谷研究部の製品の優秀な事が愈々お分りに成りましたので、引續き更に

クリーム　洗粉　頬紅　口紅　肌色白粉　ポマード

眉ズミ　香油　レークリーム　粉白粉　爪磨液……等の

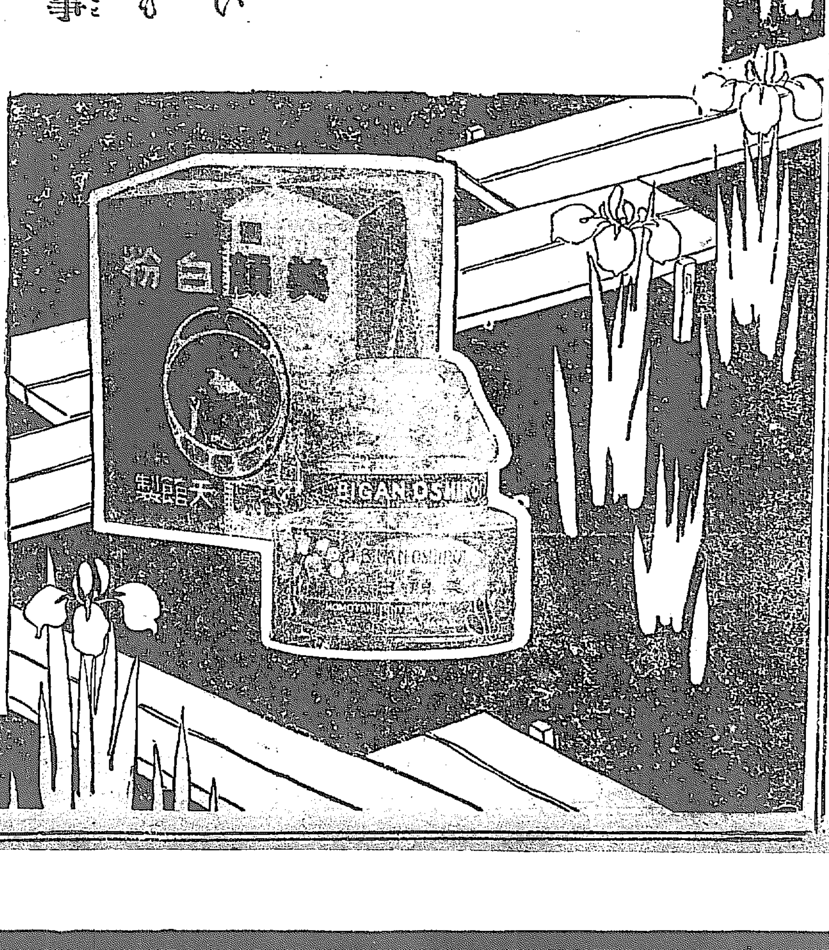
各種化粧品の調製方を命ぜられましたので、御信認の厚きに感激し、努力出精、謹製して御用に應じて居ります。

■美顔白粉を始め名譽ある各種化粧品を創製したる

桃谷研究試驗部

顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏

擔任　藥學士　桃谷幹次郎
　　　藥學士　小磯勝次郎
　　　藥學士　齋藤鋭助



かきつばた

東京　桃谷順天館　大阪

京城日報　第三版
十二日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢　郵税共三ヶ月金壹圓九拾錢六ヶ月三圓七拾錢▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　合資會社京城日報社　太平通一丁目

東京期株　二八一、五〇
大阪株式　一二五五、〇〇

大阪期米特電（十一日）

依然強調

趣味と人格

京城日報

人誰か趣味なからんや、趣味は掩はんとするも、掩ひ得可きものに非らず、苟も掩ひ得可くんば、是れ未だ其の人の異味の趣味に達せざるものと知るべし。夫れ趣味は、中に發して外に現はる、家屋や、服装や、容儀や、運動や、言語や、一として其人の趣味如何に關せざるなく、趣味如何を吹露せざるはなきなり。然り、趣味は已むを得ずして、然するものにあらず、強めて而して後に行ふものにもあらず、人に見せしめんが為にあらず、自ら衒はんが為にあらざるが故に、從て其の人の人格、殲徹の際に暴露せらる。國家に於ても亦然り、國民趣味の高下美醜は、依て以て一國命運をトするに足るべし。然り而して趣味は、之を久うして習性となり、遂に拔くべからざるに到る、既に拔くべからざるに到れば、是れ即ち之を好み、之を樂む域に達したるのみ、別言すれば教育既に趣味に化したるもの也。

吾人街頭を歩行する時、一婦人の財產に就てすら、此の婦人をトするを難しとせざるなり。吾人他を訪問して、應接室に、或は其他に於て、觸目する諸種の物に於て、其の主人の人格をトすること難きに非らざるなり。吾人は人の嗜好趣味を見て、亦直に其人を判斷するに苦まざる也。而も趣味が、他を感化し、教育する力の甚大なるは、實に豫想外たり、吾人は屢々其の實例を視るを得べし。過渡時代に於ける、殖民地の趣味が下卑なるは、何れの殖民地を見るも其の歷史の證する所なり、現に京城等に於ても、七年八年九年十年前を回顧せよ、當時諸人の趣味は如何、洵に悲むべきものありたるは、蓋し諸君の悉知する所なるべし。半島の文物整ひ、秩序調へる今日に於ては、最早前日の如き、低級趣味の横溢を見ざるは、殖民地人格の向上を明に說明せる證據として、吾人は大に慶賀するを禁ぜざるなり。殊に今日の京城に於て、俳句、茶の湯、謠曲等の流行頗る盛なるは、之れ乃ち趣味の向上と共に、嗜好家の人格に裏書せし立派なる證據ならずや。高尚なる趣味は、自個の品格を清高ならしむると同時に、併せて社會の品格を清高ならしむるもの也。茶道の如き

豐太閤は、戰塵の間に於ても、尚ほ錦嚢中に棊を藏せしに非ずや、家康老いて駿府に居るや、阿部川邊の一小亭に於て圍碁を聽取し、木村長門が、兜中に名香を焚きこめて出陣し、勿來の關に落花を詠じ、明日をも知らぬ浮沈に濺ぐ戰の都の一首を殘して一族に殉じ、或は江南を平定せし伯顏が、梅花一枝を携へて無上の戰利品となせし等、皆之れ趣味の然らしむる處、座ろ其人格の流露する處、又頗る床敷きに非ずや。

彼の泥鰌の汚水を汚れたりとせず、濁豚が臭物を臭なりとせざるが如く醜惡なる趣味が、尚ほ未だ世間に流行しつゝありとせば、其は野鄙、拙劣、猥褻、驕慢なるものあるを解せず、遂に自己の何人たるかすら忘却するが如き輩のみ、其の人格も亦知るべきのみ。蘭の幽谷に在るや、幽谷馨り、室内に在るや、室内馨す。苟も紳士ある處、隨處に紳士的趣味の實物教育を施さゞるなき也、然も自ら其の意なくして、此に到る、洵に注意せざるべからざる也、慎はざるべからざる也。

教育と負擔力

京城に於ける教育機關の現狀を見るに近來内地人子弟の增加と朝鮮人教育の進歩とに依り府内に於ける教育機關は次第に發達し昨年末に於て内地人教育の學校數二十一鮮人教育同八十計百一校を算すと雖も中等程度の教育機關に至りては甚だ不備の點尠からず就中中學校にありては年々小學校の卒業者中より四分の一乃至五分の一の入學を爲し得るに過ぎず

▽就學生徒七千人　學校組合經營の學校は内地人のみの教育機關にして高等女學校の經費中に若干の國費補助を受くる外は全部居留内地人の負擔に屬す、小學校七校にして收容兒童六千八百餘人幼稚園高等女學校の生徒を合算すれば七千六百數十人にも達す可し之を全居住内地人數に較ぶれば約一割二分強に當り戸數二戸につき一人の生徒を有する割合なり而して高等女學校の生徒は設備を擴張するに從ひ收容員數を増加せるに過ずと雖も一面小學校の就學兒童にありては近々數年間に約二千名を增加し今や其收容力極度に達して明年度に於ては更に一新校舎を建築せざるべからざる狀況なり學校數の多きこと一小學校の收容生徒平均一千名と云ふが如きは内地の大都市に比するも特異の現象なり

▽教育費の負擔率　學校組合費を負擔する府民の情況如何と云ふに大正三年現在の内地人二萬六千十九戸中年收百八十圓未滿の細民にして實際經費を負擔する能はずして免稅の恩典に浴しつゝあるもの千百八十七戸あり戸別稅として賦課する組合費の一戸當り平均十圓九十錢に對し此平均率以上を負擔する在住内地人は僅かに三千五百十六戸に過ぎず爾餘の一萬二千五百三戸は之を酷評せば他人の扶助に依りて府の一住民たる資格を享有すとも云ふを得べし大正四年に至りては戸數一萬六千九百三十三戸に增加せるも組合費負擔の能力無きもの一千三百六十四戸に達して其率を増加し前年度に比して一層生計の困難あるを窺はしむ然して同年度の一戸當り經費負擔額平均約九圓九十錢の水平線以上にある居住内地人數三千四百二十二戸にして前年度より却て九十四戸を減じ水平線以下に在るもの一萬三千五百十一戸に增加せるを見る小學校就學兒童數の大正三年より四年の迄に三百八十六名の減じたる不可思議の現象を呈せるもの或は細民家庭の生活上就學の資力に窮せるものを增加せる證左と認めて誤りなかるべし

大阪財界近信

▲鮮米俵装粗造　鮮米俵裝の粗造なることは夙に商取引者の知悉する所にて其改良を促がし居るも尚ほ屢々粗品を發見し殊に鎭南浦、新義州より内地に移入せらるゝ鮮米の俵裝は俗に輕俵と唱へ相場も一段下落を見るのみならず荷揚場より地方へ轉送すると到底不可能にて現に目下大阪安治川筋に鮮米三萬俵到著し居るも輕俵にて荷役爲すものなき有樣にて全く俵装不完全のため取引出來ざる狀態なれば返す返すも俵裝改良の急務なるを知るべきなり

▲住友電銅計畫　住友電銅計畫は既に調査一段落を告げたるも鈴木左馬也氏は目下支那視察中にて來る六月末歸來と共に具體的成案を發表するに至るべし從來新居濱精錬所に於てBS型銅九九、七%程度のもののみを製造し一部は當市住友伸銅所に於ける需要に充て居れるが電線製造所所要材料の如きは全部久原鑛業所の供給を仰ぎつゝあり有名なる銅山業者として然も他の供給を仰ぐが如きは甚しき矛盾なるのみならず住友家の威信に關し加ふるに今後兵器材料として電銅の需要激增の見込充分なれば遂に電銅事業に着手すべく內議を進め居たるものなり今後精煉電銅と相俟つて自給の途を完成すると共に更に新方面に向つて活躍を試むべき方針なれば自然新居濱精煉所の電力に不足を生ずるを以て電銅計畫實施と同時に新水力の起工となるべく勞々同事業の實現には巨額の資本金を要すべしと

▲出炭制限と炭價　來る七月一日より九州石炭掘出制限一割減實施に付或は炭價の低落を豫測するものあるも事實は殆んど其影響を蒙らざるが如し即ち本年一月以來の炭界は頗る好況にして現に貯炭高の如き昨夏の不況時代に比し約半減せるより約三圓方の昂騰を唱へ特に無煙炭にありては坑主會の決議により塊炭は三圓粉炭は二圓の値上げを發表し更に右制限減額以前北海炭滿鮮炭が關西以東に於ける九州炭の販路を侵犯しつゝありたる狀況なれば今後幾分の出炭增加を見るも炭價の向上的大勢を阻止せしむるに至らざるべしと（大阪支局）

口一句づゝ

（九の日午の日會吟）

○湖心山吹のほぐれ垂れて　虎耳
○石割の蕊餇山吹の覓　句平
○山吹の花明るさに土砂降れ　鳥堂
○庭新た山吹のみに風暴る　目池

京日詩壇

○折梅寄人　栗原華陽
梅花微笑水之涯。草屋齋來春色加。今日賭君分艷福。一枝雖小玉釵斜。
評曰　風流洒脫

○同上　高田小芥
幽谷今朝折雪葩。妙香溢手玉釵斜。驚歐一曲雖同賭。太很春煙驛路賖。
評曰　有情有韻清泡幽絶

○同上　圓山牧雲
春在江南殘月低。暗香浮動伴幽棲。動蓮一朶應君手。帷恨不留黃鳥啼。
評曰　後半妙思可掲

眼科內科　小兒科　入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院　院長　本田建義

日韓書房
新版報告
樋口麗陽譯　獨逸皇帝裁可　日本征服　定價八十錢　送料十錢
青木まさを著　藝者の裏（おもて）　定價五十錢　送料六錢
森下岩太郎著　少年と團青年團　定價八十錢　送料八錢
牧野元次郎著　ニコニコ論語　定價七十錢　送料八錢
斯道館發行　鮮朝鑛業出願者必携　定價六十錢　送料四錢
京城本町二丁目　朝鮮一四五・振替口座一二二七五

◎營業所開設
一般鑛物之鑑定並分析
左記鑛物之買入
タングステン鑛、銅、金、銀、鉛鑛等
營業所　朝鮮京釜線芙江驛
古川鑛業所

東洋大學教授　境野黃洋先生新著
佛教史論
定價一圓廿錢　郵税八錢
觀察の豐披と論斷の明快とを以て佛教史界の權威たる著者が嚴なる史筆を驅つゝ印度支那日本の佛教が過去三千年間に於ける重要の問題十有數條を研究して之れに快刀亂麻を斷つの結論を與ふ、殊に一正確な事實に基いて自分の立場を定める所にまでも佛教信仰の精神を離れざる所——この同時に又最も尊重すべき態度なりとす
境野黃洋著　活ける宗教　定價一圓廿錢　郵税八錢（好評三版）
東京神田錦町　京城石町一　大阪川原町五八　丙午出版社　大阪屋號

RANTRYO
新潟化學工業所製造
黑色銹止塗料
ラントリオ
鐵材防銹、木材防腐、塗布容易
塗延廣大、乾燥迅速、耐久偉大
光澤艷麗、彈力豐富、貯藏安全
虫害豫防、耐熱強烈、汚染絶無
海外一手販賣　三井物產株式會社
朝鮮代理店　京城本町一丁目　橫山隆一支店　電話一六七番
說明書は御一報次第進呈

北齋名畫全集
全部木版着色　奉書刷頗美本
全四十冊　特價卅五圓
送料金三十錢は特別の事
一代の畫傑葛飾北齋が意に任せ筆に隨ひ描寫するところ山水人物禽獸魚草木堂閣より百般の器財に至るまで千狀萬態奇を盡し妙を極む北齋が近世畫界の第一人たる所以を知らんと欲せば本書を繙くに如かず但し御希望に依り左の通分賣可致候
北齋漫畫　全十五冊　正價金十二圓　小包料金三十六錢

書名	冊數	特價	小包料
富嶽百景	三	金三圓	十二錢
道中畫譜	一	金一圓	十二錢
一筆畫譜	一	金一圓	十二錢
三體畫譜	一	金一圓	十二錢
傳神開手	一	金一圓	十二錢
和漢繪本魁	一	金一圓	十二錢
武者繪本	一	金一圓	十二錢
槍術圖解	一	金一圓	十二錢

書名	冊數	特價	小包料
北齋畫譜	三	金三圓	十二錢
北齋畫苑	三	金三圓	十二錢
北齋臨畫	一	金一圓	十二錢
北齋新雛形	一	金一圓	十二錢
北齋女今川	一	金一圓	十二錢
庭訓往來	三	金三圓	十二錢
花鳥畫傳	二	金二圓	十二錢
人物畫譜	一	金一圓	十二錢

美術書目は二錢郵券添へ御申越次第送呈
發行所　京都寺町二條南　振替大阪二五八　芸艸堂

愛飲家本位に考案したる
破天荒の大景品附

サクラビール愛飲家の特權

◎空籤一本もなし
◆景品區域　朝鮮全道及安東縣
◆賣出期間　大正五年自四月一日至六月三十日
◆景品箱數　一萬二千箱
◆景品引換券　櫻麥酒一打に付甲種景品券一枚
注意　但し一本宛購買者に對しては假引換券を發行し十二枚に達したる時右景品券と交換す

△甲種景品目錄
△一等　金時計（ウオルサム十八金）　金八十圓　十二本　金九百六十圓
△二等　婦人持金時計　金五十圓　十二本　金六百圓
△三等　長濱白縮緬　金二十圓　四十二本　金八百四十圓
△四等　勸業債券　金五圓　六十本　金參百圓
△五等　腰提捲莨入　金一圓半　二百四十本　金參百六十圓
△六等　櫻ビール　壹本宛　四千八百本　金千五拾六圓
△七等　口付煙草　しらぎ又は朝日　四萬貳千八百五十二本　金二千一百四十二圓六十錢
計四萬八千本　價格五千八百九十八圓六十錢
△抽籤場所　京城商業會議所（八月二日午前十時）
△景品引換　朝鮮全道各特約店（安東縣を含む）
注意　前記甲種景品附の外に一箱（四打入）購買者に對し左の乙種景品券一枚宛を進呈す

△乙種景品目錄
△一等　勸業債券　金八十圓　一本　金八十圓
△二等　自轉車　金五十圓　三本　金百五十圓
△三等　商品切手　金二十圓　六本　金百二十圓
△四等　貯蓄債券　金五圓　二十五本　金百二十五圓
△五等　裏地壹反　五本　金百十五圓
△六等　口付煙草（朝日又はしらぎ）　一萬八千百五十本
計一萬二千本　金五百九十二圓五十錢
◆總價格七千八百八十一圓十錢

販賣店各位に御德用にと考案したる大賣出し

サクラビール代理店　神戸　合名會社　辰馬　鈴木商店京城出張所
電略タツ　電話受信發信　長タツタ　二イケ　九ゼイ又は　四カウ　番子（タ）

○米國借欵支那交附

一時交附を見合せたる米國借欵は梁士詒の切なる懇請に依り米貨五十萬弗を支那側に交附せり(北京特電)

○奉天省代表者選定

段國務卿より時局解決の爲め各省代表者より成る特別會議を北京に開會するに付き代表者選定方を張奉天將軍に命令し來りたるより同將軍は之れが代表者として秘書官孫、曹の二名を送る筈なり(奉天特電)

○安東防備軍到著

東邊鎭守使の電請に依り安東防備の爲め奉天より步騎兵各二聯隊を派遣する事となり騎兵は十日午後步兵は十一日夜著の筈なり(安東縣特電)

○獨軍の戰死負傷者

英國當局者の發表せる所に據れば開戰以來獨軍の戰死者は約七十萬に達し更に負傷者は百七十八萬三千三百十名に上れりと(桑港電報)

○貿易依然好調

本月上旬の對外貿易は依然順調にして輸出總額二千七百五十七萬二千圓輸入二千八十五萬三千圓にして之れを前旬に比すれば輸出一割六分の增加にして生絲を始め屑絲、羽二重、絹織物何れも增加を呈せり輸入は二割三分の增加にして棉花の著しく減少したるに拘はらず羊毛、鐵材、機械類の增加せしに依る而して一月以降の出超累計實に六千三百五十二萬三千圓に達せり(東京特電)

○玉利博士叙勳

鹿兒島高等農林學校長農學博士玉利喜造氏は三十年間一日の如く農學上に貢献する處ありたるを以て十一日左の如く叙勳功績表彰の御沙汰ありたり(東京特電)

正四位勳三等 農學博士 玉利喜造
叙勳二等授旭日重光章

○千歳艦長轉補

十一日左の如く轉補任免ありたり(東京特電)

千歳艦長海軍大佐 土師勘四郎
免本職補旅順要港部參謀長
旅順要港部參謀長海軍大佐 中村正奇
免本職補千歳艦長
海軍軍令部參謀海軍中佐 漢那憲和
免本職補海軍軍令部出仕

○駐日露國大使

新任本邦駐箚露國大使クルペンスキー氏は十八日長春出發の旨同地より電報ありたり(東京特電)

○地方長官會議 (第二日)

地方長官會議第二日は十一日午前九時內務省に開會一木內相、久保田次官、西久保警視總監、小池憲兵司令官等列席一木內相は大略別項の如き訓示演説を爲し正午休憩午後一時より左記諮問事項に就協議せり(東京特電)

諮問事項

(一)郡市町村に於て行ふ表彰奬勵を廢する件
(二)災害土木費國庫補助規定改正に關する件
(三)肺結核豫防に關する件
(四)廢兵並に其の家族及び戰病者遺族救護に關する件
(五)地方改良講習會並に講演開催に關する件
(六)藥品の供給並に貧困者救療に關する件
(七)癩病療養に關する件
(八)內務大臣訓示條令地方行政の伸縮に關する件

▲內相の訓示演説

歐洲の戰亂其の終熄未だ何れの時にあるを期すべからず戰後社會上經濟上の變動亦容易に逆睹すべからざるものあり之が爲に非常の時にして行政百般の事務亦最も沈滯を許さざるの時なり官職に在る者若し勞苦を厭ひて事無きを冀ひ單に當面應急の處置のみに驅られに常套に泥み形式に流れ深く思ひを民人福利の根本に致す事なからんか施政の進行決して之を期し得べきにあらず宜しく部下を督勵し職分の高下に拘らず事務の改良に就きて研究を怠る事なく常に誠心と活氣とを以て事に當り相競うて職務の實績を舉ぐるの風を誠舞されん事に努むべし更に警察事務に關しては警察官吏の民衆に對する事ら叮嚀を旨とし常に溫情を以て之に接し苟も苛察に涉り凌辱を爲すが如き事あるべからず若し夫れ措置宜しきを得ず執行當を失ふが如きことあらんか當に民衆の權義利害に至大の關係を有するのみならず國家の體面に關する事なきを保せず須今一層警察官をして民衆の接遇に意を效さしめ保護の任を全うして信頼を厚からしむるに努めらるべし(下略)

○武內中將視察

武內陸軍中將は十一日奉天より安東縣著諸般の視察を了へて五龍背溫泉に一泊十二日南行の豫定なり(安東縣特電)

○軍艦笠置著釜

海軍機關少尉候補生を乘せたる練習艦笠置は十一日午後五時三十分釜山に入港し二泊の後十三日舞鶴に向ひ拔錨の豫定なり(釜山特電)

●總督巡視 尙州、金泉、大邱

寺內總督一行は十一日午前七時忠州を發し自動車を聯ねて尙州街道を長驅し途中忠北慶北兩道の境なる鳥嶺の峻險を越ね十時聞慶に著し出迎者に接見したる後一路直走十一時尙州著鑛務課出張所に至り休憩午餐後金鑛を視て邑內に引き返し郡衙に官民を引見して訓示を與へ憲兵分隊地方法院等を巡視し四時發金泉に到る(忠州より金泉迄三十二里)金泉には大邱より代表者出迎へ六時臨時列車にて金泉發七時大邱著驛には官民數百出迎へ驛前には群衆堵列して大邱未曾有の盛觀を呈す總督は直ちに道長官々舍に入る(大邱特電)

●懸案中の二法令 總督府參事官 秋山博士談

昨臘以來東京に出張して總督府の諸制令案其他に就き法制局關係者と交渉をすゝめつゝあつた秋山參事官は九日夜南大門驛著汽車で帰任した博士の談に曰く

今度は隨分長い出張だつた、昨年末から二月までは例の東拓問題で諸方を驅け廻り隨分縁の下の力持をやつた、三月からは法令の交渉にかゝつて例年の通り、僕の留守中には大分色々の制令が出た、鑛業令を筆頭として登錄税金の改正や、各種專門學校の官制などが重なものだが之は發布の當時貴紙に委しく記載されてゐたから今更話す程の事はない、僕が歸る前に始末のついたものは**鐵道局の官制改正**だ從來朝鮮鐵道の經營は技術建設を根本方針として居た事は人の知る通りだが、今日までは既に投資額一億三千萬圓を費し開通總里數も一千哩に達してゐる許りでなく營業成績の如きも數年前迄では注ぎ込む一方で明治四十一年には三十七萬圓も損をしたが、以來漸次良好の積を擧げ今では年に三百萬圓といふ純益を見る樣になつた殊に京義、京釜の兩線は六百哩に過ぎぬけれども萬國聯絡鐵道となつて**世界的交通の幹線**と目せられ各國の鐵道と對立して益發展せなくてはならなくなつた、其れには今迄の樣に技術建設を本位として居ては駄目だから今後は方針を一**變して營業を本位**とし、之に依つて大に活動し更に發展しようといふ事になつた、之れが官制改正の骨子で從來技監を長官とする制を廢して行政官を任じ、又た勅任官一名を置いて營業方面の元締をやらせようとするのと、滿鐵線の開通に伴ふ人員の增加とである、此改正案はすつかり始末がついて居るから御裁可を仰ぎ勅令で以て何時でも發布することが出來る筈だ、其れから目下法制局に出てゐるものには小口**保險と保險令との二案**があるのだが、之れは雙方とも昨年廻附したもので、小口保險の方は法制局の審議に掛らない間に內地の法令が出た爲め、朝鮮では特種の事情があるから內地と同樣には行かぬけれども然し大體其軌を一にす可きものだから多少案を修正しなくてはならぬかも知れぬ、之は勿論官營だが、保險令の方は民間の保險業者に對する取締の法規を定めて從來の弊害を芟除する爲めに設けたもので之は何時發布の運びになるか見るかは不明である、又た之から出て行くものは澤山あつて例の**酒稅令も其の一つ**だけれども未だ出ぬものは話されない、併し今の處では悉皆片附いて仕舞つて朝鮮關係のもので懸案となつてゐるものは一つも無い、僕の處は何時だつて暇は無いが法制局との間は一寸一段落さ。

□重石採掘會社と其の條件 鑛業家 津田鍛雄氏談

重石が下つたと云つても尙ほ噸三四千圓の値を持してゐる、相當な重石鑛區であれば其採掘費に噸四五百圓を要するに止まるから朝鮮重石鑛の採鑛事業は非常に有利なものである重石熱が春來非常の勢を以て半島の**天地に沸騰**しつゝあるは故なからずである併し乍ら眞にタングステン含有量多く有望な鑛區と目されるのは十餘區に過ぎず其の十餘區に數百の競願者が現はれた形となつてゐるから其の處分の結果如何は一般に深甚の影響を及ぼすであらう、吾輩は少し思ふ所あつて重石出願の渦中に投せず第三者として靜に形勢を觀望してゐると出願者相互間の競爭中傷其の他の弊害實に少なからざるを知つた依つて吾輩は思ふ多年鑛業界の爲めに奮鬪し來つた在鮮**鑛業家に採掘**を許して貰ひたい、併し唯許して貰ふと云つては弊害を生じ物議を招く基となるから乃ち在鮮鑛業家が一致して株式會社を組織し其の收益の一部を公共事業に寄附すると云ふ名義にする之れが吾輩の重石採掘競願處分に對する私見であつたが現に出願してゐる人の中にも予と同感の人少なからず最近結局其の有力な山口小林蛇目の諸君二十餘名が一致し百萬圓の重石採掘を主とする**株式會社を**設けようと云ふ機運が熟し既に事務所も南山町に出來一味の人々大に奔走中だ、予は其の贊成者の一人だが多數の中には隨分多慾な人もあるらしく其の設立に多少の困難はあるけれど目的の貫徹に就ては衆の意見一致してゐるから會社の成立は實現するだらう詳しい事はまだ極まらぬが大體に於て其の會社の發起人には地方在住の日鮮人有力鑛業家をも加へるが好からう而して會社は一割五分位の配當をしたら**殘額利益の**二割以上を總督に指示を乞ひ公共事業に投ずる其公共事業に就て私の希望を述べると第一官民意志疏通機關たる朝鮮協會の設立、次に朝鮮の鑛業發展を圖る爲め南大門附近の如き衆目を惹く場所に堂々たる朝鮮鑛業館を建設し標本を陳列し時々學者驗家の講演を開き更に分析をも依頼に應じてやる事にしたら宜からう、朝鮮は鑛業に依つて富を築くと云ふ事が今後產業開發上の急務と信ずるのである其の鑛業の發達に鑛業館建設の如きが何程貢獻するかは蓋し想像以上だらうと思ふ。

●各港汽船出入 朝鮮各港に

四月中入港せし汽船は二十五萬六千七百二十一噸にして出港二十五萬三千四百九十二噸なるが前年より若干減少せり

●道路改修賦役 平安南道に

ては了波舍人場間三等道路改修工事の爲め江東郡高泉面馬山面順川郡厚灘面麟谷面に對し六日一戶平均當り七人合計二萬四百二十七人の賦役を課したり

●移民村に鄉社 全南潭陽郡

水北面に今春東拓第六回移民として福岡縣山門郡三橋村礒鳥より代議士富安保太郎氏の紹介にて十一戶の團體移民移住し來りたるが其の將來の見込み良好なればとて鄉里の農民に移住を勸め遣りしもの多く第七回移民として近く又同村より一團體の申込ある模樣なるが前記十一戶の移民は礒鳥團體として水北面に鄉社を奉祀すべく諸種準備を進め富安氏よりは櫻千本を鄉社境內の植附に寄贈せりと

●慶北經濟狀況 慶山府

一般金融界は相變らず緩漫金利動かず商況亦不振なれど市場に於ける夏物は相當に荷動きあり四月中移出穀物玄米二千九百七十八石大豆千二百五十一石にして是を三月に比し玄米に於て千二百三十二石大豆に於て四百十石の減少なり▲星州 一般農家は金融枯渇し少數の富者は遊金に苦む狀態にて市場は極めて閑散穀價糯四圓三十錢玄米九圓八十錢大麥三圓六十錢小麥七圓八十錢大豆五圓七十錢▲榮川 農事資金需要旺盛なる時季に當り穀價安及び先弱氣配の爲め金利は大差なきも金融逼迫の狀況市場出廻思はしからず▲聞慶 前月來煙草耕作資金需用喚起し多少の繁忙を呈せり米價は保合にして大取引なく彌々小口出廻あり

●水道給水の不足 京城水

道給水狀態は每年夏時に於て不足を告げ昨年の如きは七月二十六日より二週間夜間の送水を中止したる程なるが本年は早くも此程一日の使用量三十六萬立方尺に達し之れを昨年の昨今三十四萬五千立方尺なりしに比すれば一萬五千立方尺多く使用し居れる割合なり其の原因は人口の增加によること勿論なれども一面給水申込者の數を增加したるためにて此儘ならば或は六月頃迄に通水の制限を行はざるべからざるやも知れずとなし道當局は昨今善後策に就て攻究中なり

●京城府の除蠅講話 京城

府にては既報の如く本年の豫算に計上したる除蠅費三千圓の費目に依り昨今其實行に著手中なるが更に一般府民の注意を喚起せんため先づ小學校の兒童に除蠅の必要を說くべしとなし田中囑托を適當の時間に於て各學校に出張せしめ講話を爲さしめ居れるが尙は夜間を利用して一定の場所に府民を集め講話會を開くべしと

●釜山鑛產舘出品 釜山商

業會議所々屬鑛產舘にては鑛物陳列方照會中の處四月中に十五箇所より出品申込ありしが其後續々出品あり九日迄に送附なし來りたるもの左の如し

▲銅鑛、大荒滌、元荒滌、金山滌皆より產出鑛各一種宛(藤田組大荒滌鑛山)▲金銀鑛、方鉛鑛、亞鉛鑛、重石、ウオルフレーム沃盤、浮流選鑛中、亞鉛鑛焙燒爐、鋼爐の寫眞(飛驒吉城郡三井鑛山會社神岡鑛山)▲銅鑛含金銀鑛石二種、亞鉛鑛一個、(秋田縣鹿角郡三菱尾去澤鑛山)▲幌內鑛工場案內、鈴藥硝一組(北海道炭礦汽船北海道支店幌內鑛)▲黑鉛黃鐵硅鑛の各一點宛、電氣一個同亞鉛一個、寫眞一枚(岩手縣和賀郡鑛田組小阪鑛山)▲紡藥香二組(新潟縣佐渡鑛山)▲錫炭銑一、アンゲル鋼三種、丸鋼六種、平鋼三種角鋼二種、レール二種(岩手縣釜石鑛山田中製鐵所)▲塊炭一、水洗小塊炭一(佐賀縣杵島郡杵島炭坑)▲大辻鑛業所石炭一枚、石炭一(福岡縣貝島鑛業株式會社支配部)▲黑鉛一、無煙炭一組(咸鏡南道永興郡山下鑛業所)▲石炭一塊(平安南道安州郡明治鑛業株式會社安州炭鑛)等十一箇所にして今日迄合計廿六箇所より到著出品せられたり尙朝鮮內地よりは出品方に付續々照會し來ると(釜山)

人事消息

▲稲塚英太郎氏(釜山郵便局通信技師) 十一日夜入京山本旅館へ
▲池邊積生氏(元山土木局出張所長技師) 十一日夜入京不知火旅館へ
▲小瀧元司氏(鎭南浦久原精鍊所長) 同上
▲淺井佐一郎氏(漢城銀行平壤支店支配人) 同上
▲高倉靜三郎氏(釜山鑛業家) 十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲前川益次氏(鑛業家) 同上

■南言北語■

獨逸は隨分得手勝手な事を云ふがコーラーと云ふ博士は此樣な事を云つて居る▲一體戰爭は國家と國家との爭ひであつて軍人は其の義務行爲を果すのみである▲英國が潜航艇員を捕へて海賊扱ひにして死刑に處したのは不都合だ▲獨逸に向つて損害賠償を要求すれば好い▲蟲の好い申分だ商船は無警告で擊沈して置いて其れでも軍人行爲と云へるか▲强盜は食ふ爲の强盜だ腹が立てば爺に云へなんて其の樣な馬鹿氣た話があるかい▲而うかと思ふと白耳義の主權者はカイゼルである▲白耳義王は主權を捨てて唯空位を擁して居る計りだ▲だから國民は實際の主權者たるカイゼルに服從の義務がある▲若し之れに反する者は叛逆罪として死刑に處するが當然だと▲理窟も休み〳〵云ふが好い斯う云ふ理窟が通れば世界の法律は皆獨逸の利益になるもの計りだ▲ドッコイ問屋は其うは卸さぬ盜人猛々しいとは此奴等の事だらう▲ソーラ出たぞ稚吐へ檻禁して置いた狂犬が飛出したが▲見付次第誰でも構はぬから撲り殺して仕舞へ第二のエムデンたらしめては大變だ▲山東の騷ぎでは日本人も殺されたと云ふ▲元來日支通商條約中には日本人が殺されたら二萬兩の損害賠償をする事になつて居る▲處が明文丈けで何時も彼れは馬賊だつたとか何とか彼とか云つて二萬兩出した事がない▲今度と云ふ今度は一文もマケ無しで取るべし此の樣な辭は甚だ以て頗る好くない▲だから甘く見られるサ

○安東四月經濟

安東縣に於ける四月の經濟狀態は[illegible]り米價の好氣配に逆ひ頗ぶる好況な商談成立じ加ふるに歐洲向輸出豆油の文も注し今後資金の需要少かる可き見込にして從つて金利も當分持合の狀態を絶せり豆粕は月末に及んで漸く荷動きを見るに至りたる程なれば其最極が如き輸移出品に於ては棉糸布のみ獨り賣行好調にして日々多少の賣捌[illegible]

[illegible]添町二丁目朴承烈(三)崔昌淵徐允泰(三十)康錄洞吳三石(三七)の三名は外二[illegible]賣却したるを手始めに[illegible]後西國に[illegible]り合計約二十貫(價七十圓位)を竊取[illegible]所に忍び込み牛皮六貫(價四十八圓)を竊取し京城黃金町なる同店支店に[illegible]品六點(十二圓)を竊取したること明したり

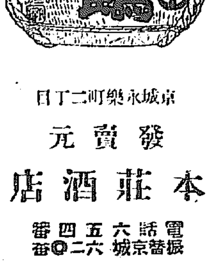
○大枚一圓寄まる 本月八日夜南陽[illegible]

大田支局開設

今般大田に本社支局を新設致す事と相成り大田支局長伊藤靜を其準備の爲め派遣致候條此段謹告仕候也

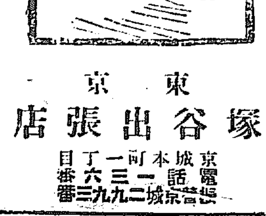
五月十一日 京城日報社

優等清酒



京城永樂町二丁目
發賣元 本莊酒店
電話六五四番 振替京城六二〇番

夏帽子
パナマ 二圓七十錢より
ムギワラ 七十錢より
鳥打形 五十五錢より



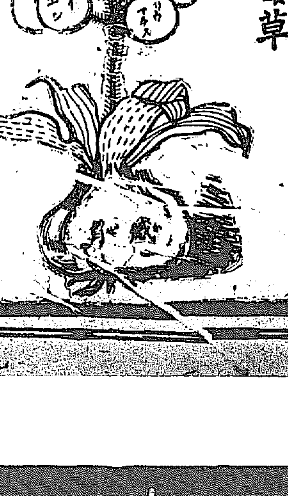
東京 塚谷出張店
京城本町一丁目 電話一三六番 振替京城二九三番

開城白蔘尾蔘大販賣
朝鮮土產一切
京城本町一丁目郵便局横
製造發賣元 津村兄弟商會 電話一四八〇番

人蔘エキスは下記諸病に特効あり御愛用の上精力を增進せられよ
警務許可濟
特効能
神經衰弱、老衰、腦病、肺病、痔病、子宮病、胃腸病、發育不良より起る諸病外用に使ふもよし
定價
金三十五錢 金六十五錢 金一圓二十錢 金二圓

恐るべき毒草

人の體內に感冒の種が宿りたるを等閑にすると往々肺炎、チブス其他種々の恐るべき疾患の實を結ぶ、感冒に罹つた時は直に效能最も優れたるハカリ印のヘブリン丸を以て病根を除き去らねばならぬ



各藥店にあり

耳の疾病(みみやまひ)
自宅治療法無代進呈

耳の疾病は恐るべきなり本院が社會の同病者に福音を授けつゝある自宅療法は最近醫學界の賞讚を得た確効ある新發見にして從五位醫學士森友道先生及び東京醫學專門學校藥學士藤本先生は本院の顧問となられ耳科一般の疾病は容易に治し遺憾なく完成し此信用ある療法を以て耳病を一掃せられなば恰も雲霧を排して旭日を望むが如く一身の幸福と一家繁榮の前途を開拓せられよ因に郵券二錢添附申込みあらば耳の話耳の衞生耳病に關する即ち耳遠き人聽力不足耳だれ耳なり中耳炎內外耳炎鼓膜炎等の疾患一切と病源を記せる一冊子を何人にも無代にて送呈せん。

東京府荏原郡入新井村
棚橋博濟院

▲金融の狀況 前月來引續き木材の賣行良好にて久しく內地相場割安の爲出不引合なりし豆粕も月末に至は兎も角輸移出品の大宗たる豆粕取引の阻害せらるゝこと多く例年に無地價格割安の爲多くは是等の諸地方よう仕向けられ當地の移出は一時杜向け積出され木材は天津、芝罘、青島等へ是亦纏まりたる移出ありたる月せり(安東縣)

◎深夜電線を竊む 京城竹或は石にて切斷して竊取し持去へて竹添町三丁目の古物商李錫(三)にゐたりしこと發覺し兩名共本町署に引致さる

昌根(三)は前科數犯の曲者なるが本年四月下旬龍山岡崎町朝日石鹼製造は四月二十日蓬萊町の河村某方にて戶締の麻紐を切斷して侵入し衣類雜の手に取押へられ取調べの結果同人るを高陽署に屆出でたるを以て取調べの結果右は同じ仲間の李成癸と云ふ乞食の仕業と知れ取押へられたり

◎獨逸の強いのは
四つの原因がある
—阿部棄城本部長談—

獨逸が強いのには四つの原因がある軍人の養成、軍器軍需品供給の準備糧食の供給準備及び財政の豐富である然し換言すれば是れとても豫め今日を豫測して準備して置いたのを其儘使用してる丈けの事で餘り褒め上げるにも及ばぬ位置を代へて他國が獨逸の樣に各方面の準備をして置き

◇其他の國が無準備

であつたとすれば戰爭は準備せられてた力が強くなるのは當然の事である然し兎に角獨逸は強い今日英でも佛でも露でも一國對戰したとすれば到底獨逸に敵する事は出來ないに違ひ無い、**其獨逸も流石善戰して來たが今日では殆んど窮した趣がある** 獨が頻に進出してヴルダンを陷れたはよいが之から向一歩進んでペトログラードを陷れる處まで行かれば彈丸頭を塗らせる事は出來ない處が軍は優位について進出すれば進出する程占領した領土は廣くなるが軍備は餘計要る事に成る聯合軍の方では徐ろに軍備を整へ次第に完成に近づいて來るのだから其完成に達しない前に打破つて置かねば不利である何とかして一日も早く戰線の勝負を片付けようとして獨逸はヴェルダンに殺到して來たのだ處がヴェルダンは白耳義のナミュール、リエーヂ、アントワープと云ふ要塞の樣に容易には陷落しない

◇白耳義の諸要塞

は容易に陷つたのに佛の一要塞が佛〳〵陷らない原因にはいろ〳〵の事があるが強ひて言へばヴェルダンは大要塞だからである要塞の事などは佛〳〵內容が專門的になつてゐて鳥渡では素人に解り兼ねるが要塞の築造法と大砲の威力とは正に相比例して發達して行く攻防共に兩設備が一出一退で或時は砲術の方が進むだかと思ふと其次は要塞防備の方が堅固に成つて來る恁て兩々相待つて進歩するものだ

◇今度の戰爭の爲めに ◇戰ひ出される要塞

の如きは幾度大要塞が主眼とされるに到るであらう寧ろ夫れに先つて大砲は非常に大きなものとなつてゐる獨逸の四十二サンチなぞそうだが日本などでも三十三サンチなぞと云ふがある戰爭が始まると同時に我が陸軍などでも直に各方面から各種の報告をはじめさせて寸時も爭し讀査研究の歩を停めないが今日では其報告書許りでも積んで山を成して居る **其內容の如き一々語るべき性質のものでもなく** 又話しても鳥渡素人には理解が難しいが然し此戰爭の御陰で日本人が一般に軍事知識を得て來た事は事實である、殊に政治家の軍事智識を得る程度の進んで來た事は非常なものだと言はねばならぬ無論國家の爲め悅ぶべき事で益々國民の軍事智識を增進して行き **國家をして向上の路に向はせなければならないのは** 言ふ迄もない道理である

◇我國の如きにしても

思ふに這回の戰爭は今後益々列強の軍備をして充實せしむるに到らしむるであらうが

◇機會ある每に軍備

の充實を計るべきだと思ふ換言すれば事情の許す限り軍備を充實して行かねばならないと思ふ『富國弱兵よりは貧國强兵』論者に寧ろ贊成せざるを得ない諸種の實例は今次の大戰に據つて充分に示されてゐるではないか今日既に白耳義、塞比亞、黑山國の三國は元首をして其國にゐる事が出來ないでゐる其の理由は決して三國が國際公法に逆き人道に戾つた行爲をしたと云ふのではない唯

◇弱小國で在たから

なのである人道も公法も武力の前には何等の權威も無いと言ふ事が明瞭に見せつけられたのだから何で默つてゐられやう國を立て國を保つには強國な強うするに在りと言ふ事に歸結して來ねばならなくなつてゐる然し遂に獨逸**は現世界の覇者ではあり得ないに違ひ無い** 最後の手段として選んだヴェルダン攻擊が假令如何に肉彈を兩注して猛烈に次ぐに猛烈を以てしても遂に來たぬくべからずとすれば二里四里を衝かうとした所迄も破れてしまつたものと言はれずならぬ然して今日では早くも露軍の攻撃を防ぐ許りでは無く聯合軍から逆襲しようとまで云ふ新さへ見え初めた然し乍ら攻者として佛軍丈けでは到底駄目だ露軍の乘り加はる無くんば到底事を遂ぐるとは出來ない **最近馬塞由を經て露軍頻りに聯合軍側に輸送さる** ゝとの情報はあるが若れは恐らく左したる事もなき少數であらう元來が露軍は遲鈍だしそれに

◇軍器軍需品が不足

してると來てるのだし尙加ふるに比較的の精銳はガリシヤ方面に於ける戰鬪で大抵捕虜に成つてるし殘つたのは訓練不充分な遲鈍者流と來てるのだから是又大事を爲す時が何時やら鳥渡見當も付き兼ねる勢ひ双方共進むにも進まれず退くにも退かれず獨逸は唯機會が來て媾和されるのを只單に翹望してゐると言ふ次第なのだ先づ今の處何時壽れるやら皆目不明である

◇然るに尙に又更に ◇見當の付かぬものが

一つある支那の現狀である、けれども是れは歐州戰爭よりは多少は目鼻もある兎に角一日一日進歩しつゝあるのだから聊か歸結は歐州より先につくではあらう支那の事は **其國情其國民性を極めた者にでなくては解り得ない** 決して他國の事例通りになぞ進みはしない一通りの理屈通りになぞなりはしない先づメン〳〵進んでくれて行く處まで行つてくれねば困る國が潰れる處迄行くのだ其時に爲すべき處もあらう我國も對支那策の聊かは持參しないでも無いが今は何も言ふまい言ふべき時でもなく又言ふべき身分でもない唯默視してゐるより外はない呵々

◎死に行く途中
世を厭つた青年

九日午前九時頃より午後四時頃迄で釜山停車場待合室を徘徊したる青年あり午後五時頃突然驛前派出所に至り自分の所持せし封書二通寫眞一枚を入れたるハンカチ包を盜まれたりとの屆出でたるも其擧動怪しきより詰合の巡查種々取調べたるに原籍山口縣豐浦郡勝山村中川静馬(三)と云ひ家庭の不和より世を悲觀し七日無斷家出し八日夜下の關より高麗丸に乘込み玄海に投身せんとしたるも乘客に發見され釜山に上陸し自殺せんものと死場所を搜索し居たるものと判明したるが或は精神病者らしき形跡あり目下原籍地に照會中(釜山)

◎少年の仕業
何うしても思はれぬ

熊本縣阿蘇郡高森町生れ丹藏長男春田賢(二)は京城若草町佐竹洋服店の養子なるが同人は大正二年鄕里より前記の養父の下に來りしも繼母と常に折合惡しきを苦にし去る七日本籍地に歸らんと父の金を持ち出し釜山迄の乘車券を求め釜山に來り白米釜山仲の町唐津屋事田中勝太郎方に宿泊中同家の妹が卓子の中に納め置きたる財布(金三圓餘關釜間連絡船切符在中)を窃取し九日夜連絡船高麗丸に乘船なし歸鄕せんと第一棧橋徘徊中同派出所相津巡査が怪みて取調べの結果前記の次第と判明したるを以て直に京城佐竹に照會したる處引取に行くとの返事ありたれば釜山警察署にて保護中(釜山)

◎困つた慌て者

京城蓬萊町李順日(三)は十日夜十二時頃泥醉して米倉町電車停留場より龍山行の九十號電車に飛び乘りたる途端に誤つて電車の窓硝子一枚を破損せしめたるも負傷せざりしと

◎強盜慄へ上る

全北全州郡華山面上虎里千福萬(三〇)外一名は去る明治四十一年陰曆十月十五日夜同里を距る西方約十丁の高內谷と稱する峠に於て折柄通行中の同郡飛鳳面拜田里朴斗仲(四〇)及び李字奉(五〇)を捕へ脅迫し出金を迫りたるも相手の二人がこれに恐れず反つて千福萬等を組み伏せ散々毆打したる上命をも取り兼ね間敷き權幕に強盜も慄ひ上り隙を見て何れにか遁逃したるが其後屆出により所在搜查中の處去る五日千福萬は釜山憲兵派遣所の手に捕へられ取調べの上強盜未遂罪として全州法院支廳の公判に附せられたり

◎嬰兒屍體漂著

本月十日午前九時頃仁川署管內花房町派出所の徐巡査補が巡回中萬石町居住鄭化敬なる者同町猫島海岸に嬰兒の屍體漂著せる旨訴へたれば同派出所の杉田巡査は仁川病院の鶴田醫師及び中島刑事と共に現場に出張し檢視を遂げたるに死後約二十日位を經過したる生後三十日位の男兒にして半身殆んど腐敗し何れの者とも判明せず仁川府廳に引渡し假埋葬に附したるが屍體を海中に投棄したるものなるべしと(仁川)

◎川本逸童歡迎演奏

東京逸翁派琴古流尺八の宗家川本逸童氏は今回門人村井逸徐校等井光雲公當森井紅葉の三名を隨へ來京したるが氏は東京尺八講習會教授部長を勸め居り斯界に誇らるゝ事深く今回當地の同好者は來る十三日(土曜)午後正七時より京城ホテルに同氏歡迎演奏會を催すべく當日の演奏曲目は左の如し

一、櫻川(管村井逸徐、琴笠井旅校、琴森井勾當)二、本曲鹿の遠音(一部川本逸童、二部村井逸徐)三、稚兒櫻(管村井逸徐、琴笠井旅校)四、明治松竹梅(管川本逸童、村井逸徐、琴笠井勾當、琴笠井旅校)五、本曲岸上つ波(一部川本逸童、二部村井逸徐)六、八重衣(管川本逸童、琴笠井旅校)七、秘本寶(京城旅校)八、今小町(管本村逸徐)

◎末怖しき少年

福岡縣鞍手郡新入村大字知古料理店辻野善太郎長男強(一六)といふ少年は小說白河文庫の忍術使ひ猿飛佐助や名張の又五郎などを讀み耽つた結果自分も忍術師氣取りになり安永惣三郎、八尋友次郎など〻僞名して惡行の數を盡すに至り親爺も持餘し折檻の爲め同縣嘉穗郡飯塚町陶器商浦市郎方に丁稚奉公に遣はしたるに幾程も經ぬ客月二十四日主人の机の抽斗から銀行の預金通帳と實印を盜み出し即日銀行より二百圓引出して逃亡朝鮮に高飛びし安東縣を經て五日奉天に來り同地榮城旅館に本松正雄と僞名投宿せるを被害者よりの電請に依り豫て手配中の奉天警察の手に捕押へられたるが盜んだ金は既に百圓餘り費消しゐたりと

◎強盜に嚇さる

全南順天郡順天面北內里徐若順方に二名の強盜來り宿泊の同地双岩面右洞里姜永璣を拉して東內里の道路上に出で脅迫の上三百圓の出金を迫り毆打を加へたるも同人が所持金なしと云ふより更に徐若順を引き連れ來り毆打するより兩人共苦痛に堪へず姜は終に徐に預け置きし金四十圓を賊に渡さんことを求め又印形を交附して賊の求むる金を借り出さんことを乞ひたれば賊は再び徐の宅に行き金九十圓を強奪し若し告訴するに於ては重ねて來襲すべしと威嚇の上逃走したり

◎靴專門の賊

京城並木町金鎭成(三九)舟橋町金今奉(三二)の兩名は共謀し本年四月二十七日並木町禹仲根方にて靴二足を窃取したるを手初め同町のみに於て前後六回に同町鞋甫の靴合計六足を窃取し之れを賣却して得たる代金にて蟻甫買ひをなして來り

□金魚
近年は滅切り廉い 上等で一尾一圓臺

初夏の街には「金魚うい、きんぎよう!」の觸れ聲が聞ねます、眼に青葉山ほとゝぎす金魚の季節となりました、數年前まで京城では金魚のねだんが滅法界に

▽不廉 かつたものですが四十三年東大門外に養殖所が出來て以來著しく廉くなりました、金魚の卵はこの頃水槽內の金魚藻につけて五六日經と可愛らしい目高に孵化します、それに粟や麩などを與へてだん〳〵大きく育てますが琉錦の劣等種で一尾一錢位から

▽上等 で一尾五六十錢乃至一圓位の相場です、頃日養殖場の池に夥多の金魚が泳いでゐるのは洵に綺麗な眺めです、池の金魚はそのまゝ打捨つて置いても朝鮮の冬を凌ぎます、併しその中の三分の一ば寒さに斃れると申します、安甘川の電車停留所では美しい

▽硝子 の鉢に入れたのを一個九錢で賣つて居ました、養殖所ではまた大和鯉を飼養して居ます親鯉は主に京城の料理屋に賣るのですが卵から孵化して一年目には親鯉となります、餌は滿洲作蠶の蛹を與へて居りますが相當利益があがる相です種は日本から移入した大和鯉で朝鮮在來の其に比し成績がよいと云ひ升

□隔世の感
▽良くなつた朝鮮の道路△

今度の總督の地方巡視は誠に手近の旅行の樣な感があるけれども之れを內地旅行に比すれば東京を發し東海道筋を岡崎に至り其れから引返して岩淵より甲州路に入り鰍澤甲府を經て東京に歸るのと略ぼ似寄つた道程となる

	朝鮮	內地
▲第一日	京城…永登浦 汽車 / 永登浦…忠州 自動車	東京…品川 汽車 / 品川…岩淵 自動車
▲第二日	忠州…金泉 自動車 / 金泉…大邱 汽車	岩淵…辨天島 自動車 / 辨天島…岡崎 汽車
▲第三日	大邱…芙江 汽車 / 芙江、清州、公州 自動車	岡崎…岩淵 汽車 / 岩淵…鰍澤 自動車
▲第四日	公州…永登浦 自動車 / 永登浦…京城 汽車	鰍澤…新宿 自動車 / 新宿…萬世橋 汽車

□四日間の汽車と自動車との總哩數を通算して比較すると汽車は朝鮮百五十八哩の內地百五十四哩、自動車が朝鮮百十九里內地百廿六里になる

□之れを十年前の朝鮮旅行に思ひ合はすれば誠に隔世の感に打たれざるを得ないが然し今日でも內地で果して斯くも自動車を何處でも自由に驅り得るや否や、こんな事を懷ふも亦一興である

◎大鞄を掻浚ふ

住所不定の金秉周(三九)は八日午前十一時半頃京城本町四丁目某店頭に立掛けありし南大門通某自轉車商の所有車臺に結び著けありし大形折鞄一個(八圓)を掻つ浚ひて逃走せし所を被害者に取押へられ本町署に引致されたり

◎僞證書で詐欺

全北金堤郡金堤面九水里居住趙鈴燮(二四)は同里居住の金貸業久門市太郎(三三)と豫て昵懇なるを奇貨として同人を言葉巧みに欺きて充分自分を信憑せしめたる上同人を誘き出し他人の畓及び田を實見せしめ梁明西及び姜完國なる者の名義の土地賣渡證を僞造し之れに兩人の印章を盜用し郡廳の手續を濟して市太郎に手渡しそれと引換に金四百七十餘圓を騙取したること發覺其の筋の手に捕へられ取調べの上文書僞造行使詐欺罪として檢事局に送らる

◎不正漁業者檢擧

長崎縣漁夫谷崎金太郎(三一)外四名は去る六日對州より渡鮮の途釜山沖合にて無免許にて鯖三百八十尾を漁獲し七日釜山水產會社に十九圓八十錢にて水揚げしたる事發覺し漁業取締規則違反として檢擧されたり

◎財布を拔き取る

京城府麻浦生れの趙慶順(三九)は四月二十六日午後三時頃龍山漢口通郵便局裏手草原に泥醉して橫臥し居りし高陽郡漢芝面漢江里の中上奉(三)の腰に結び著けありし財布(十八圓三十三錢入)一箇を窃取したる爲め八日龍山分隊の手に捕はる

◎狂犬竈に潛む

京城禮智洞脫狼鄕方に九日夜飼主不明の一頭の狂はしき犬が迷ひ込み同夜温突の竈中に蟄伏し翌朝出で來りし所を引つ捕へ獸醫診斷の結果狂犬と判明して撲殺したり

◎狂犬

十日午後二時頃龍山漢江通りを一頭の狂はしき犬が疾走するを龍山分隊の憲兵が認めて引つ捕へ獸醫診斷の結果狂犬病に罹り居れるものと判明し即時撲殺したるが飼主不明にて附近の飼犬三四頭を咬傷したる形跡ありと

◎猩紅熱

京城古市町永田とし子(二)は五日發病十日診斷の結果猩紅熱と判明し總督府醫院へ入院せり

◎小泥棒の處刑

京城東谷生れ龍山二村洞居日稼尹氏(四二)は鐵道官舍某方に出入し居れる內一月より四月十日迄に現金十一圓八十錢を三回に窃取して懲役四箇月の處刑となる

◎空箱泥棒

高陽郡恩平面梁鐵里徐光仁(四二)は九日午後十一時頃南米倉町所在の玉楠商店所有の倉庫軒下にありたる空箱四個を窃取し北米倉町を徘徊中本町署の巡査に取押へらる

◎麥酒會社園遊會

大日本ビール株式會社朝鮮總販賣元にては十一日正午より京城獎忠壇に京城を始め全鮮各地の販賣店舊得意數百名を招待し大園遊會を開催し種々の餘興を催し來賓の競技等あり盛況裡に午後五時散會せり

◎新茶著荷

と云ふ珍らしい廣告札が茶店の店頭を飾る本町の茶々園主は山城本場物の見本を贈り添へて『新茶走る今年の出來は非常に佳し』とある

老婆が酌む若菜の茶屋の新茶かな

京日案內

普通(一回金三十錢無割引) 番外(一回金六十錢無割引)

▼申込後中止等取消の節は料金返戾せず

男女外勤員採用 月給弐拾圓外に歩合を給す希望者履歷書携帶本人來談 花園町一二二 帝國圖書普及會支部 406

▲小供入用 年齡十五六歲の者至急壹名入用但要保證人本人來談あれ 京城明治町三丁目 木村屋支店 429

▲書籍類は報告類に至る迄取揃有候 京城本町二 電二五二 セッボヤ書店 158

▲朝鮮に關する昆虫及植物特價販賣 採集用具 京城壽町四〇 電話二二七六 回天堂敎育品部 421

店員入用 年齡十七八歲本人來談 市內保證人を要す 京城本町一丁目 大阪屋號書店 418

外務員募集 但し市內に相當知己あるもの希望者は直接來店あれ 京城本町二丁目 町田新聞部

◎古本なら野村へ 京城本町一丁目(明治町筋) 電三六番 野村書店 142

古本無比高價買入弊堂の勉强是非御試賣を乞ふ御報即刻參上 京城本町四 電話二七八一番 書肆 群書堂 199

▲キヤラメルは滋養に富む 人參キヤラメルに限る 京城藤商會の 413

◎讀果樹園 城外梨桃約千五百本植付後六年成績頗る佳良希望者は可成往復端書で照會あれ 姓名在社 404

番外

見習看護婦二名入用 京城旭町三丁目 電話二四六二 若槻內科小兒科醫院 423

◎南山町三丁目消防詰所前に轉居 産婆、マッサージ 電話一四四〇番 三浦小糸 427

鑛山用機械類並採鑛用具 マグネット新荷著 京城南大門外 電話二九四〇番 京僧商會 417

分析鑛物各種(正確迅速) 京城太平町二の二三〇 朝陽分析所 424

京城本町二丁目 元中島病院跡(入院隨意) 內科 專門 胃腸病 呼吸器病 兒科 山田醫院 電話二八〇番 197

▲萬衣裳貸物所 本町五丁目電車終點 電話二千八百六番 べにや 120

三妃殿下の台覽を辱ふする名譽の 女學講義錄 新學期開講 修養資料 入會最好機 申込次第見本呈 京城觀水洞 大日本女學會支局 132

年金 恩給退隱料で金融希望者へ 其他證券公債券に對し低利擔保貸金 商品販賣 京城永樂町一丁目 江州屋 148

蜜蜂注文の好時機 カ種一群十五圓 詳細は照會あれ 湖南養蜂場 185

恩給年金類 長期短期保險 低利立換 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外(府廳前) 山口屋 190

恩給 年金地方教員巡査退隱料立替四年半迄千圓以上特別契約 電話一一一三 博多屋本店(京城櫻井町大正館向) 192

佳味滋養 豆乳 月七十錢 純粹消化 玄米乳 月八十錢 配達迅速 京城新町 電話二七八七 齋藤製乳所 414

胃腸最新藥 歐米十三ケ國專賣特許 チゲスチン
胃腸疾患、食慾不振……常用すれば血液を增し精力を盛んにす。
●說明書進呈 東京本町 合資會社 圓城商店

ダリヤ 實費分讓 目錄無代進呈 京城西大門外竹添町二丁目 東京千草園分園

目ぐすり中の目ぐすり 登錄商標 岸田 目藥 精錡水

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正淵

中野有光長女品子儀病氣の處養生不相叶本日未明死亡致候間此段辱知諸君に謹告候
追て葬儀は途中葬列を廢し五月十三日午後一時永樂町西本願寺に於て執行致候
五月十一日
弟 中野清光
親戚總代 廣川謙吉 吉松吉次
友人總代 秋山雅之介 具然壽 山形閑

電一五六七番 旭町二丁目(京城府廳裏) 株式會社 京城葬儀社 二川屋事 中河原重吉 靈柩馬車の設備有之候 井上芳太郎 電話九五七番

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

千生瓢 (209)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫（十）

家康は呵々とうち笑って、「篠木郷の浄土宗の農民、味方に心を寄する者あって、唯今注進に及んだが、實は眞僞の知れ難さに、作左と評議致し居った處ぢゃ。鬼武藏愈々出陣とな」と、温顔に訊ねる。伊賀の者は幾度も默頭いて、「農民申す條、少しも僞りおざりませぬ。池田父子、鍔の森、いづれも

先陣承はって、今夜亥の刻を相圖に、瑞龍寺を發向致す儀におざりまする」「出陣は今夜亥の刻と申すか」「さん候ふ。就中森武藏守、羽黒の恥辱を雪ぐのは、此一戰にあると申して、死を決して奮戰致さう覺期とおざりまする」作左衛門は委細を聞き居たるが、突と膝を進めて、「先陣はさもあらう。さて續く軍勢は？」と訊ねた。「第二陣は堀久太郎秀政が五千餘人、中軍は三好孫七郎秀次が一萬餘人、押として長谷川藤五郎秀一が二千五百人とおざりまする。別して先陣は池田勢の一萬五千餘人に、森が三千五百餘人、孰れも必死を極めて働きとおざりますれば、其々御同意あって然るべう存じまする」伊賀衆は落ちもなく申し立てた。作左衛門は逐一聞き訖って、「敵状具に聞き取って注進に及ぶ條、誠忠御感在らせらる。追て恩賞の御沙汰あるべき間、暫時引退って休息致されい」と、申し渡して、伊賀の衆に暇を取らした。其後へ内津村の農民を呼び出して家康自身對面の上、「其方北畠殿御領國の百姓として、耕作を勵み、貢租をも怠らず、誠實なる心懸け、最も感じ入る。此度は日來の御恩を忘れず、一大事の儀を存じ辨へ、逸はやく注進に及びだる條、奉公の忠節、天晴の至りと存ずる。依て些少ながら褒美を下し賜はる」と申し渡した。農民は大將の御前に出たるさへあるに、過去のお詞を戴き、剩さへ莫大の恩賞を拜領して、唯だ感涙に咽ぶばかりであった。其時作左衛門より重ねて、「其方共の忠義に依って、此度の一戰味方御利運に相成る上は、北畠殿とも御相談の上、乾度御褒め遣はされる。猶此上とも人言に迷はされず利慾に惑はず、一筋に御領主の御爲を存じて、如才なく忠功を抽づるよう、同志の者にも申し含め、御用相勤むるようの心懸け、最も肝要であらう」と申し聞かされたので、農民は面目其の身に餘って欣々として居村へ立ち歸った。殆ど是れと入れ違ひに、犬山附近に潜ませた間諜、直走りに走って歸陣した。其言ふ所に據れば、秀吉自身も三州亂入と同時に畫策する所あると覺しく、去る六日の午過、犬山を出馬なし、豫て普請させ置いた樂田に本陣を移して、近く小牧山と相對するに至ったのである。且つ今未明に廻文を發して、三好秀次、池田父子、森長可、堀秀政、長谷川秀一に命じ、明日兵を出して三州を討伐する旨を諸將に通じ、一令の下に進軍致すやう、用意致し置くべき旨を命じたのであった。家康は直ちに秀吉の意圖を承知して、唯莞爾と笑ったまゝ、驚くべき程沈着であった。秀吉が樂田に本陣を進めたとすれば、小牧山は僅かに一里半可、即ち五十五六町を隔つるに過ぎぬ接近の地點である。兩軍の本陣が此の如き近距離の間に對陣することは、實際珍しい對陣と謂はねばならぬ。其にも拘はらず、家康が泰然自若として、六倍の敵を睥睨しつゝある大膽さは、流石物熟れた本多重次すらも、舌を捲いて感じ入るばかりであった。やがて北畠中將信雄の出座を要めて軍議を凝らした。即ち榊原小平太康政、大須賀五郎左衛門尉康高、水野總兵衛忠重、同く藤十郎勝成、本多彦三郎康重に、丹羽勘助氏次を案内者とし、猶甲州穴山黨の旗頭岡部彌次郎長盛を差添へて先陣を打たする事と定まったのであった。

入院隨時　旭町三丁目十三番地　若槻內小兒科醫院　電話二四六二番　ドクトル、メヂチーネ　若槻寛隆

皮膚科　入院隨意（診察夜九時迄）　皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（元日曜町）　佐藤醫院（電話一七一三番）

■若葉十句　黄丘

そよぐ若葉功心閃くかな
若葉庭晴著女兒チョロしす
結飯はらふ山頂に若葉部落問ふ
薄兒敕にむせぶ歩道の若葉
石臼の庭響き柿若葉搖れり
日每窓暗し若葉色柔しき
番茶菓子に都の事を若葉に移る
笑の止まぬ窓機に立つ植込の若葉
底冷ゆる北向の若葉窓かな
高鳴り潮の寄せ來る若葉の莊に

新刊紹介

▲安土桃山時代史（文學士渡邊世祐著）大日本時代史の一冊子にして織田豐臣時代の史變を詳述せるものなり安土時代は信長の起りにまりて宇内の大勢織豐二氏の交綏を叙して本能寺の遺變に終り桃山時代は秀吉の幼時より始まりて其立身出世と宇内の統一朝鮮征伐等を叙して其の發表に終りたり當時の重要史料は近年に至りて發見せられたるもの甚だ多く中には從來の史論を覆すべきもの勘からざるを以て著者は殆ど全く初版を改竄して本書を完成せりと云ふ當時の史跡が詳論せられたるもの十二冊の大日本時代史は本書の發行を以て完成せるなり（菊判布製五百二十八頁コロタイプ三枚入早稻田大學出版部發行書）

▲婦人週報（二の一九）四錢東京市牛込區市ケ谷田町二の一七其社

▲衛生新報（一三の一七七）五錢東京市日本橋區通旅籠町一四其社

▲世界之產業（二の五）中部支那に於ける本邦人の形勢即上海蘇州杭州南京漢口沙市宜昌沙市長沙重慶成都の邦人發展の状況商品交通金融戸口職業等出來得る限り精細に調査發表せり（定價不詳東京市麴町區一番町二七產業調査會）

▲九星獨占ひ　昔の聖人が直覺し得たる五行の眞理を基として組立てられたる治國修身齊家の一法なりと稱せらるゝが原理根本原理活斷の方法及び起源の三段に分ち所謂相生相尅吉凶其他を叙ける小冊子（二十五錢東京市下谷區御徒町三の五四文寶堂）

▲世の中（五月號）日本好色記列傳不思議な殺人事件子供の職業を何うして選ぶか江戸時代の遺物松方侯の”割公如の有體他其の他（二十錢東京市麴町區有樂町一の四實業之世の社）

▲開拓（五月號）生活と食物號と稱するだけありて全誌總べて本問題に關する諸名士の所見を蒐めたり（十八錢大阪市東區瓦町五其社）

▲實業之世界（五月號）引つゞき野心論に對する攻撃の筆鋒鋭利を極む其他經濟界の前途は悲觀か樂觀か日本化學工業の將來討論仕る大カード式に學校の大目加藤皆見るべし（十錢東京麴町區有樂町其社）

▲ナショナル（三週年紀念號）支那は果して奈何になるか國家民族は幾千の戰費を協し得るか皆が事樂に及ぼしたる歐洲戰爭の影響及び澁澤男の核心等著者野鶴川本桑太郎諸士に闘する月旦等（五十錢東京赤阪溜池町一其社）

▲新日本（六の五）新式外交と新式外交大隈伯狸の腹つゝみ中村博士巨大なる化學工業の利源鶴居博士七戰後の時業界と日本商品氣質博士支那太郎水井柳太郎婦人愛國婦人會の活動山脇博士最新文明十數件其他例月の通り各種の記事滿山（本號に限り卅錢東京神田錦町三階）

▲海紅（五月號）手段としての純一化碧梧桐を始めとして文藝小品新聞同派俳句掲載（一冊二十四錢東京下谷上根岸七四其社）

▲大日本新聞（二九九）五錢大阪市北區北野芝田町一七其支局

▲生活の力（四ノ二）一錢東京市京橋區木挽町六一〇其社

▲日本國教大道叢誌（三三五）十錢東京市小石川區關口町一九〇大道社

▲常磐木（五月號）二十錢東京市小石川區東青柳町二十九其社

讀者の領分

▲大和町二丁目の香山問題より初まって世界の相場生君と仲介生君との論説は春の日永のつれづれに實に興味あり殊に寢けさましとして相場君の説が穿てる（局外中立生）▲先日も注意中せし機械油の雑巾を原に乾さるゝ事は彼の附近居住者一般の迷惑なるに拘はらず自家の都合許りを考へ一般衛生を顧みず盛に乾さるゝは公德心の缺如か餘りといへば横著な事である（南山町一休生）▲貴社主催の京城々壁廻りは大賛成なり爾後登山會でも組織して四季斯う云ふ事をやって貰ひたいですね敢て望む（愛讀者の一人）▲京城では俳句會、書會、漢詩會、和歌會等其れ〳〵會合があるが彼れを一團として大會を一度催したら何うです賛成者あらば肝煎はしますが（南山綠雄）▲今日は區々だる一地方の團結よりはズーッと進んで大なる團結が必要だ四國人は四國人大會でも開いては何うか（伊讃土阿の浜人）

タングステン　用手廻鑛機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一等を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得　京城南大門通五　電話一〇四番　中根商會

レンガーミシン會社　大邱支部　分店所在（大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州）

新刊書御案內
新々英和辭典（三省堂）特價一〇〇
はじめて將棋新報　將棋新報社　四〇
はまり手
朝鮮諸官廳法律講義　朝鮮受驗者必讀　特價七五
貸付妙策と最後の手段　北井滋　六〇
新譯紅樓夢上　岸春風樓　一〇〇
入及び女として　與謝野晶子　一〇〇
日用新手紙の文　大町桂月　八〇
佛教史論　境野黄洋　一三〇
現代米國外交論　島谷亮輔　一〇〇
歐洲戰局の現在及將來　吉野作造　一三〇
解析力學抄　桑木彧雄　一五〇
鐵筋混凝土工學　岡部學樹志　二五〇
增補佛敎思想講話　淺田慧雲　一二五
世界統一　カイゼル　九〇
カイゼルの裏面　宮崎修男　九〇
音樂の原理　田邊尚雄　一二〇
產業帝國主義　柳本卯平　一〇〇
蒙古通誌　中島竦　三〇〇
銀行簿記精義　川口西三　二〇〇
二千五百年史　竹越與三郎　特價一〇〇
京城本町　大阪屋號書店　電話二〇八六　振替京城二五七三番

大日本優等清酒　ハクツル　白鶴　品質純良　衛生無害　釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社　發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

直輸入　土木建築　金物商　諸官衙御用達　京城本町二丁目　佐野彥商店　電話一六三番　振替京城一二〇番　千代田生命相互保險會社代理店　名古屋卿商株式會社代理店　日本石油特約販賣店

イケダ小兒病內科醫院　池田季雄　京城三越吳服店前（入る旭町四丁目）電話（醫院一二三四番／自宅八八〇番）

內科小兒科　婦人科花柳病（入院隨時）　筑紫醫院　京城櫻井町一丁目（大正館南半丁）

新案特許　淋病熱氣治療器　淋病は四十度の熱を加へて其黴菌は此理により完全に殺せば全治し再發せざる事は今や學界に確認せらる本器は此理により發明せる熱氣治療器にして既に豫期以上の効果を報告せられ其他の實地試驗に於て何人も自宅で安全に且快速に淋病を治療するを確信して發賣するものなり次第進呈すべし但郵送は切手六錢封入あれば詳細説明書ハガキにて申込も進歩せる療法也　東京市下谷區中根岸町八十一番地　日本體育商會

消化と毒けし　仁丹　金言　華美は却って品格を害ふ（西諺）

宮內省御用品　美顏術師が天下一品と稱へるクリームの王　臭ひなく、粘り氣なく、お肌を直ちに珠のやうに美しくする　植物性天下一品クリーム　クレームレート　東京平尾贊平

七日ツケタラ鏡をどうら色白くなるゲンソ液　今東京で大評判の白美の元素色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人、美男子となる　全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す　東京和泉橋際ゲンソ液本舖松本藥店　小壜二十錢　徳用四十錢

閑靜にして避暑避寒に宜し　溫陽溫泉　溫陽旅館

胃病新藥マーゲン　胃病快治法（要る方は御申込次第進呈）　特約店　京城南大門通二　新井藥房　大阪十太町　石田保健藥房

商況

大阪株式特電

京阪電鐵　和歌山紡　合同紡織　鐘淵紡績　同上新株

大阪三品

下關期米特電

仁川米豆取引所

十一日の七月限

▲現物界

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、廳門、神戸大阪行
安東丸　五月廿三日　午後五時
天草丸　五月十七日
信濃川丸　五月廿九日　後二時
木浦、釜山、巌原、郷の浦、長崎行
信濃川丸　五月十二日
鎭南浦、大連行
信濃川丸　五月廿四日　後二時出
湖南丸　五月十四日　正午出帆
木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
安東丸　五月十二日　後二時出
群山、釜山、横濱行
潮州丸　五月十九日
福州丸　五月廿九日　後二時出
清津、浦潮行（元山出帆）
印城津西湖津寄港
宮島丸　五月十九日　後二時出
平安丸　五月廿九日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
城津丸　五月廿六日　前十時
基隆丸　五月十五日　後四時出
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番　五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸　六月四日　正午出帆
高砂丸　五月十二日　正午出帆
三河丸　五月廿三日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五三、二二三番
京城南大門驛前　代理店取扱所　松原運送店（電話一二七〇番）
金剛丸　五月廿一日
京畿丸　五月十二日
黃海丸　五月十六日
咸鏡丸　五月廿六日　釜山發
穩城丸　五月十三日
昌平丸　五月廿二日
鏡城丸　五月十七日　元山發
忠淸丸　五月十六日
平壤丸　五月廿二日　元山發
永興丸　每月廿八回　元山發
盛德丸　五月十三日　釜山發
江陵丸　每日　（釜山　浦項）發
三浦丸　五月十七日　釜山發
濟州丸　每日　釜山發
巨濟丸
順天丸　每二三日　木浦發
慶興丸　五月十五日　木浦發
一公州丸　五月十四日　木浦發
一公州丸　五月　日　木浦發
宗信丸　五月十三日　仁川發
江原丸　五月十八日　仁川發
麗水丸　五月廿二日
晉州丸　五月十六日　仁川發
錦江丸　每日午前　仁川發
南陽丸
平安丸　五月十六日　群山發
五月廿一日　若松發

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
大正丸　五月　日後四時出帆
大有丸　五月十三日後五時出帆
神代丸　五月十八日後五時出帆
秀吉丸　五月廿四日後五時出帆
君が代丸　五月　日後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
立神丸　五月廿三日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸　五月十一日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸　五月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸　五月十八日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　五月　日後六時出帆
○佐須奈、巖原、壹岐、博多行
天眞丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第一共同丸　五月十二日入港　五月十四日前九時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候　大連にては青島行定期船接續荷客共直航旅客は往復割引賃金取扱仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸（元山出帆）　月　日前八時出
本町二丁目　阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店（電話一〇八番）山下回漕部
元山代理店（電話二四七番）田口回漕部
京城取次店（電話二六八、二〇一七）河村運送店